



## 環境配慮指針とは？

大和市では、着実な人口増加を背景に、交通や産業、住宅などの都市機能が発展を続けています。市民の生活はますます便利になりライフスタイルは多様化してきています。事業活動は活気にあふれ、都市生活を支えています。

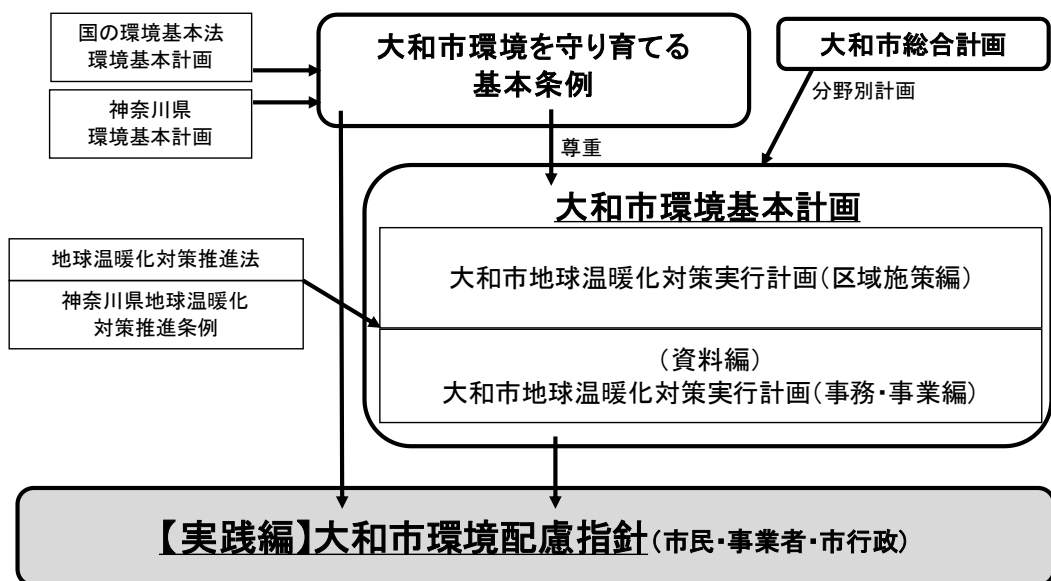
その一方で、地球温暖化、大気の汚染、減少する緑など、環境問題が顕在化してきています。

こうした環境問題の改善には、行政である大和市の積極的な対策はもちろんのことですが、市民や事業者のみなさんの問題意識と具体的な実践行動が欠かせません。

この「大和市環境配慮指針」は、暮らしやすく魅力あふれる大和市の環境づくりに向け、一人ひとりが環境配慮型のライフスタイルやビジネススタイルを見つけ、切り替えていくための「きっかけ」を整理したものです。

みんなで、「取り組み」の芽を育てていきましょう。

### ▼ 大和市環境配慮指針の位置づけ



### — 2018年度修正版の発行について —

「大和市環境配慮指針」は、大和市環境を守り育てる基本条例第9条に則り、環境基本計画に基づいて策定するもので、市民・事業者・市行政がそれぞれの役割に応じて環境に配慮した行動をするための指針です。本市では、平成30年3月に環境基本計画を改定しており、本指針についても一部を修正します。

平成31年3月

# 目 次

---

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| I. プロローグ .....                    | 1  |
| 1. 日々の暮らしの中での環境配慮による効果.....       | 1  |
| 2. 事業者の CSR としての環境配慮 .....        | 4  |
| II. 環境配慮指針〈市民編〉 .....             | 5  |
| 1. 環境配慮行動の分析.....                 | 5  |
| 2. 本指針の目標.....                    | 5  |
| 3. 6 つのプログラム .....                | 5  |
| 4. 環境配慮行動とプログラムの関係 .....          | 8  |
| 5. 家の中での配慮.....                   | 10 |
| 6. 出かけるときの配慮.....                 | 23 |
| 7. 買い物での配慮.....                   | 30 |
| 8. 3R への配慮 .....                  | 40 |
| 9. 住まいへの配慮 .....                  | 47 |
| 10. 周辺への配慮.....                   | 54 |
| III. 環境配慮指針〈事業所編〉 .....           | 59 |
| 1. 環境配慮行動の分析.....                 | 59 |
| 2. 本指針の目標.....                    | 59 |
| 3. 6 つのプログラム .....                | 59 |
| 4. 環境配慮行動とプログラムの関係 .....          | 62 |
| 5. 毎日の事業活動での配慮 .....              | 63 |
| 6. 建築・管理での配慮 .....                | 77 |
| 7. 農業における配慮 .....                 | 85 |
| IV. 環境配慮指針〈市行政編〉 .....            | 88 |
| 1. 大和市地球温暖化対策実行計画【事務・事業編】.....    | 88 |
| 2. やまと EMS の取組み .....             | 91 |
| V. 資料編 .....                      | 92 |
| 1. 大和市環境基本計画(平成 30 年 3 月改定版)..... | 92 |
| 2. 平成 20 年・平成 29 年アンケート .....     | 95 |



# I. プロローグ

---

## 1. 日々の暮らしの中での環境配慮による効果

日々の暮らしのさまざまな場面で、わたしたちはいろいろな環境配慮行動を取ることができます。そして、次のような効果が期待できます。

### [1] 地球温暖化や気候変動へ対応する〈地球環境・エネルギー〉

科学的知見から地球温暖化が進行していることが明らかとなり、気候変動を伴う深刻な影響が懸念されています。地球温暖化の原因は、二酸化炭素をはじめ温室効果ガスの増加であり、これは私たちの普段の生活におけるエネルギーの使用や自動車の利用などと大きく関係しています。また、温室効果ガスの排出を削減する緩和策に加えて、気候変動の影響による異常気象などの被害を回避・軽減するために適応策にも取り組む必要があります。地球温暖化や気候変動へ対応するためには、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの活用など、次のような取組みが必要です。

- ▼ 産業部門での省エネルギーの推進
- ▼ 業務その他部門での省エネルギーの推進
- ▼ 家庭部門での省エネルギーの推進
- ▼ 運輸部門での省エネルギーの推進
- ▼ 再生可能エネルギーの活用
- ▼ 廃棄物・廃熱の有効利用
- ▼ 緑の保全と創造
- ▼ 地球温暖化防止対策の推進
- ▼ 気候変動への適応

### [2] いつでも深呼吸できる環境を取り戻す〈空気〉

空気の主な汚染源として、自動車や工場・事業所の燃焼設備からの排出ガスがあげられます。また、微小粒子状物質(PM2.5)等の新たな環境汚染物質による影響も懸念されています。大気汚染を防止するため、次のような対応が必要です。

- ▼ 自動車交通量低減対策の推進
- ▼ 自動車の利用方法の転換促進
- ▼ 大気の状態の把握・情報提供

### [3] 親しめる川を取り戻す 〈水・水循環〉

川や海の身近な水環境は、わたしたちに安らぎの空間を与えてくれるだけでなく、生物の住みかともなっています。河川の水質は着実に改善していますが、さらなる水質向上を図るため、汚濁負荷物質の排出抑制と下水道等による適正な処理などの対策が必要です。

また、水循環基本法に示された、地域の水循環を維持または回復させるという考え方を踏まえ、雨水の有効活用や河川の水辺整備による水源保全に取り組む必要があります。

河川の水質や水循環の維持・回復のため、次のような対応が必要です。

- ▼ 工場・事業所における排水対策の推進
- ▼ 生活排水対策の推進
- ▼ 雨水の活用
- ▼ 水の使用量の抑制
- ▼ 雨水の地下浸透

### [4] ほっとするみどりの空間を増やす 〈緑・生物・景観・産業・都市空間〉

緑地や住宅の草花など身近にあるみどりの空間は、わたしたちをほっとさせてくれます。昆虫やそれをえさとする鳥類など、生物の住みかにもなっています。都市化に伴い減少した野生の動植物を守り、豊かな生態系を育むとともに、外来種等の脅威から保護に努め、多様な生物とのふれあいのあるまちづくりを進める必要があります。

あわせて、自然環境として大切な役割を果たす農地の保全と活用を進め、農工商が調和し、自然環境と共生した景観づくりや都市空間を創出する必要があります。

さらに、近年ヒートアイランド現象が著しい都市部において、緑陰効果により気温を下げる樹木は、従来にも増

して大切な存在となりつつあります。都市部のみどりに意識を向けて、次のような対応が必要です。

- ▼ 住宅地・商工業地の緑化推進
- ▼ 都市型緑化の推進
- ▼ 環境保全型農業の推進
- ▼ 農地の保全と活用
- ▼ 野生動植物の保護
- ▼ 野生動植物の生息・生育場所の確保
- ▼ 自然環境と共生した景観づくり

### [5] 「もったいない」を広める 〈資源〉

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動は、莫大な資源を消費し、種々の環境問題を引き起こしています。私たちのライフスタイルを循環型のものに変革して、持続的に発展する資源循環型社会システムの構築を推進する必要があります。

- ▼ 資源循環型の消費活動の促進
- ▼ 廃棄物の減量化
- ▼ 使用済み製品の再使用
- ▼ ごみの資源化
- ▼ 廃棄物・廃熱の有効利用

## [ 6 ] 見えない物質の不安を減らす 〈安全〉

殺虫剤や接着剤、塗料、化粧品などをはじめとして、わたしたちの身の回りには、化学物質があふれています。現代の暮らしや事業活動は、化学物質なしには成り立たないともいえます。こうした化学物質は、正しい使い方をする限りは安全ですが、使い方を誤ると有害となるものがあります。さらに、廃棄する場合にも、適正に処分しないと環境汚染を引き起こすものがあります。

また、近年、ダイオキシン類などによる環境汚染対応や、有害化学物質の使用と排出の抑制が求められています。これらの化学物質等による環境リスクの低減に向けて、次のような対応が必要です。

- ▼ ダイオキシン類への対応
- ▼ 有害化学物質など環境リスクへの対応

## [ 7 ] 健康で快適な暮らしを確保する 〈音・美化・環境保全活動〉

様々な環境問題を解決し、持続可能なコミュニティづくりを進めていくためには、市民・事業者・市といった様々な主体が力を合わせるとともに、役割を分担して行動することも求められます。

例えば、静かな環境の保全や、ごみが捨てられにくいきれいなまち並みの維持には、個人・家庭・自治会・団体・事業者と市が一致協力して取り組む一方で、それぞれの主体ができることを、できるときに、できる場所で実践する必要があります。

健康で快適な暮らしを確保するためには、次のような対応が必要です。

- ▼ 環境学習の推進
- ▼ 各主体の協力による取組み
- ▼ 工場・事業所の騒音・振動防止対策の推進
- ▼ 生活騒音防止対策の推進
- ▼ 不法投棄・ポイ捨ての防止
- ▼ 美化活動の推進

## 2. 事業者のCSRとしての環境配慮

近年、企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)がクローズアップされています。特に、環境配慮はCSRの大きな柱となっており、企業のイメージアップに大きく貢献するばかりか、経営を維持・拡大するツールとも捉えられています。

事業者にとって、CSRとして環境配慮の取り組みを推進することは、次のような効果を生み出します。

### [ 8 ] 社会的信用の向上・取引拡大 〈CSR〉

企業にとっては環境に配慮した経営が事業活動を持続する上での必須要件となっています。取引要件として環境配慮指針を用意し、取引先にこの順守を求めるケースが増えており、事業活動において環境配慮に積極的に取り組むことで、こうした要求に比較的容易に対応できます。これによって、取引の維持、拡大につなげることができます。

また、自らの環境配慮行動を積極的に公表、公開することで、社会的な信用を向上させ、取引先だけでなく、消費者などへのイメージアップにもつなげることができます。

### [ 9 ] コスト削減 〈環境経営〉

生産活動においては、廃棄物処理費や污水处理費などの環境対策費はコスト全体の大きな割合を占めているとみられます。一方、環境管理を徹底することで廃棄物量や汚水量を削減できれば、コスト削減につなげることができると考えられます。

また、業務部門においても、OA用紙代やコピー代、電気代などの節約に取り組み、ムダを省くための管理を徹底することで、こうしたコストを削減することができます。

### [ 10 ] コンプライアンス 〈ルール〉

大気汚染防止法、水質汚濁防止法、土壌汚染対策法などの環境基準を定める法令の順守はもとより、その他の環境関連法や制度も年々厳しくなっています。特に、生産者にとってはその責任範囲が拡大し(拡大生産者責任、EPR)、従来よりも広範囲に及ぶ対応が求められるようになってきています。

こうした法令を順守することはリスク管理の観点からも事業活動にとって必須条件となります。環境配慮行動に関心を持ち、法令改正の動向などに常に注意を向けることで、コンプライアンスの維持、向上効果が期待できます。

### [ 11 ] リスクの未然防止 〈リスク管理〉

環境マネジメントシステムを導入することによって、温室効果ガスの排出や排水、廃棄物など環境に影響を及ぼす作業や設備の点検・整備を継続的、確実に行うことができます。このほか、環境汚染などの事故を未然に防止できる、コスト負担を最小限にとどめることができるなどの効果も期待できます。さらに、顧客や取引先からの具体的なクレームを想定し、あらかじめその対処方法を検討することで安心感が得られます。

## II. 環境配慮指針〈市民編〉

### 1. 環境配慮行動の分析

過去に実施した市民アンケート調査結果を参考にして、それぞれの環境配慮行動について「どの程度実践されているか」、「実践状況に個人差があるか」という2つの点で分析しました。

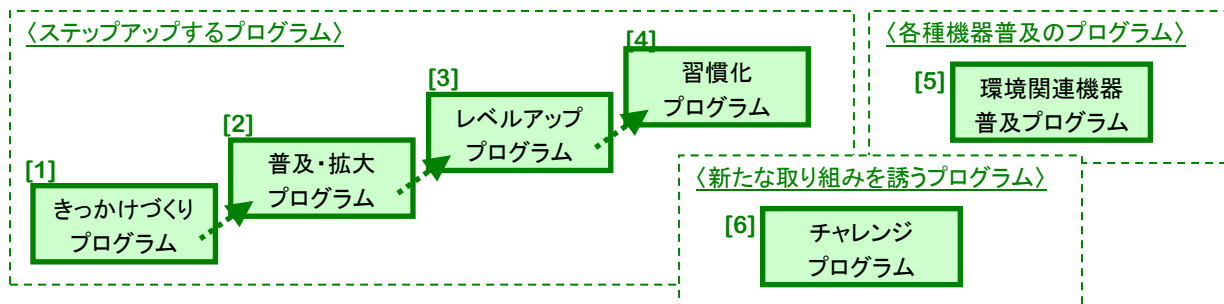
### 2. 本指針の目標

本指針が目標とする状態は、より多くの市民が、より多くの環境配慮行動を実践することです。

### 3. 6つのプログラム

本指針では、様々な環境配慮行動について分析した上で実践の度合いや個人差が類似する環境配慮行動を「プログラム」としてまとめて、市民に対する普及・拡大を働きかけていくこととします。具体的には、次の6つのプログラムに分類しています。

#### ▼ 6つのプログラム



#### [1] きっかけづくりプログラム

ごく限られた市民にしか実践が見られず個人差が大きく、しかも実践の度合いが低い取り組みです。ここでは「知ってもらうこと」を重視し、そのうえで、参加や実践しやすい「きっかけ」を提供します。

##### 〈市の役割〉

- 広報等を活用した積極的な PR、情報提供
- イベントなどでの直接的な働きかけ
- きっかけとなる場やしくみの整備など

##### 〈市民への期待〉

- テレビなどのマスコミ、市の広報による環境特集の視聴
- できるところからの実践など



## [2] 普及・拡大プログラム

実践の度合いは低いものの、実践している市民が比較的多く見られ、広がり始めてきている環境配慮行動です。ここでは、「より多くの市民に実践してもらうこと」を重視し、環境配慮行動が面的に広がるよう、対策を行います。

### 〈市の役割〉

- 実践事例の PR、情報提供
- 広がり期待できるグループや地域、事業所などに対する実践の働きかけなど

### 〈市民への期待〉

- 家族の中での実践の徹底
- グループや地域、友人、知人間での実践していない者に対する「声かけ」など

## [3] レベルアッププログラム

多くの市民が実践し広く普及しているものの、一生懸命に実践する人とそうでない人との個人差が大きい取り組みです。ここでは、「実践するレベルを引き上げること」を重視し、高いレベルで取り組む人を目標に、底上げのための対策を行います。

### 〈市の役割〉

- 実践事例の PR、情報提供。特にレベルの高い事例の積極的な紹介
- 実践者同士が情報や意見を共有できる工夫
- すでに実践している環境配慮行動に関する改善ポイントの紹介など

### 〈市民への期待〉

- より実践しやすい工夫や、より大きな効果が得られた工夫についての情報発信
- すでに実践している取り組みの改善

## [4] 習慣化プログラム

すでに多くの市民に実践が見られ広く普及しており、しかも実践レベルが高く、かつ個人差も小さな環境配慮行動です。ここでは、環境配慮行動を「維持」し、さらに「習慣化」することを重視し、新たな環境配慮型ライフスタイルとして定着させるための対策を行います。

### 〈市の役割〉

- 温室効果ガス排出状況など取り組みの成果が実感できる情報の積極的な提供
- 地域や学校、グループ、事業所などを巻き込んだ普段の暮らしへ定着させる工夫など

### 〈市民への期待〉

- ブームやはやりなど一過性の取り組みに終わらせずに定着させるための工夫
- 取り組みの成果も考えた上での環境配慮行動の実践

## [5] 環境関連機器普及プログラム

現在、実用化されている環境配慮型の各種機器を広く使うことで環境への配慮を実施します。環境関連機器は技術革新が著しく、エネルギー消費効率が高くなる反面、価格や維持費は下がってきています。環境関連機器について、まず「知ってもらうこと」を重視し、その上で、設置や導入を促す工夫により、普及・拡大を図ります。

### 〈市の役割〉

- 広報等を活用した積極的な PR、情報提供
- イベントなどでの直接的な働きかけ
- 触れる、見てもらうなどきっかけとなる機会や場の提供
- 利用者の意見や感想といった「生の声」の提供など

### 〈市民への期待〉

- 各機器メーカー、市の広報による環境関連機器情報への主体的な接触など

## [6] チャレンジプログラム

今後の広がりが期待される新たな環境配慮行動や、チャレンジすべき環境配慮行動です。仕組みがまだ十分に整備されていない、技術が実用化レベルに至っていないなど、成果が見えにくいものも多いですが、最新情報の入手に努めるとともに、できる部分は実践してみようことを働きかけます。

### 〈市の役割〉

- 広報等を活用した積極的な PR、情報提供。特に、新たな取り組みを知ってもらうためのきっかけとなる機会や場の提供
- イベントなどでの直接的な働きかけ
- 実践者の意見や感想といった「生の声」の提供など

### 〈市民への期待〉

- テレビなどマスコミ、市の広報による関連情報への主体的な接触など

## 4. 環境配慮行動とプログラムの関係

環境配慮行動は、次のようにプログラムに分類しています。

|   |                          | きっかけ<br>づくり<br>プログラム | 普及・<br>拡大<br>プログラム | レベル<br>アップ<br>プログラム | 習慣化<br>プログラム | 環境関連<br>機器普及<br>プログラム | チャレンジ<br>プログラム |  |
|---|--------------------------|----------------------|--------------------|---------------------|--------------|-----------------------|----------------|--|
| 家<br>の<br>中<br>で<br>の<br>配<br>慮           | 〈省エネルギーの工夫〉              |                      |                    |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ 充電式タイプの電池を使う           | ●                    |                    |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ 白熱電球を蛍光灯やLEDに替える       | ●                    |                    |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ テレビのつけっぱなしは要注意         |                      | ●                  |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ 夏は28℃、冬は20℃に           |                      | ●                  |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ カーテンやブラインドを上手に使う       |                      |                    | ●                   |              |                       |                |  |
|   | ■ 電子レンジを上手に使う            |                      |                    | ●                   |              |                       |                |  |
|   | ■ 冷暖房は必要なときだけつける         |                      |                    |                     | ●            |                       |                |  |
|   | ■ 照明をつける時間を短くする          |                      |                    |                     | ●            |                       |                |  |
|   | ■ 冷蔵庫は、詰め込まず、開閉回数を減らす    |                      |                    |                     | ●            |                       |                |  |
|   | ■ 適切な火力で、ふたをするなど工夫して調理する |                      |                    |                     | ●            |                       |                |  |
|   | ■ 太陽の熱や風と上手につきあう         |                      |                    |                     |              |                       | ●              |  |
|   | 〈節水の工夫〉                  |                      |                    |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ トイレの大小レバーを使い分ける        |                      | ●                  |                     |              |                       |                |  |
| ■ 節水機器を使う                                 |                          | ●                    |                    |                     |              |                       |                |  |
| ■ 風呂の残り湯を使う、まとめ洗いをする                      |                          | ●                    |                    |                     |              |                       |                |  |
| ■ こまめに水道を止める                              |                          |                      |                    | ●                   |              |                       |                |  |
| 〈水を汚さない工夫〉                                |                          |                      |                    |                     |              |                       |                |  |
| ■ 石けんシャンプーを使う                             |                          | ●                    |                    |                     |              |                       |                |  |
| ■ 油汚れはまずふき取る                              |                          | ●                    |                    |                     |              |                       |                |  |
| ■ 石けん洗剤を適量使う                              |                          |                      | ●                  |                     |              |                       |                |  |
| 出<br>か<br>け<br>る<br>と<br>き<br>の<br>配<br>慮 | 〈脱自動車のための工夫〉             |                      |                    |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ 公共交通機関を利用する            |                      | ●                  |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ 徒歩や自転車に切り替える           |                      |                    | ●                   |              |                       |                |  |
|   | 〈エコドライブの工夫〉              |                      |                    |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ エコドライブを心がける            |                      | ●                  |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ 相乗りする                  |                      | ●                  |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ 迷惑駐車をしない               |                      |                    |                     | ●            |                       |                |  |
| 〈エコカーの購入〉                                 |                          |                      |                    |                     |              |                       |                |  |
| ■ 次世代自動車を購入する                             |                          |                      |                    |                     | ●            |                       |                |  |
| 買<br>い<br>物<br>で<br>の<br>配<br>慮           | 〈地産地消の工夫〉                |                      |                    |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ 朝市等を利用する               | ●                    |                    |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ 地元産農産物を優先購入する          | ●                    |                    |                     |              |                       |                |  |
|   | 〈エコ・ショッピングの工夫〉           |                      |                    |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ マイバッグを利用する             |                      | ●                  |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ リースやレンタルを活用する          |                      | ●                  |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ エコマークを目安に商品を選ぶ         |                      | ●                  |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ 省エネの家電製品を購入して使う        |                      | ●                  |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ 環境を考えたお店をひきにする         |                      | ●                  |                     |              |                       |                |  |
|   | ■ 食料品は適量を購入する            |                      |                    |                     | ●            |                       |                |  |
| ■ しっかりした素材で愛着の持てる服を選ぶ                     |                          |                      |                    | ●                   |              |                       |                |  |
| ■ 保証があり修理できる耐久品を選ぶ                        |                          |                      |                    | ●                   |              |                       |                |  |
| ■ 必要以上に化学物質に依存しない                         |                          |                      |                    |                     |              | ●                     |                |  |
| ■ カーボン・オフセット商品を購入する                       |                          |                      |                    |                     |              | ●                     |                |  |

|                       |                     | きっかけづくりプログラム | 普及・拡大プログラム | レベルアッププログラム | 習慣化プログラム | 環境関連機器普及プログラム | チャレンジプログラム |
|-----------------------|---------------------|--------------|------------|-------------|----------|---------------|------------|
| 3Rへの配慮                | 〈排出抑制(リデュース)の工夫〉    |              |            |             |          |               |            |
|                       | ■ 生ごみは堆肥にするか自分で処理する | ●            |            |             |          |               |            |
|                       | ■ 修理サービスを上手に使う      |              | ●          |             |          |               |            |
|                       | ■ 家庭ごみを半減させる        |              |            |             |          |               | ●          |
|                       | 〈再使用(リユース)の工夫〉      |              |            |             |          |               |            |
|                       | ■ リフォームを上手に使う       |              | ●          |             |          |               |            |
|                       | ■ リサイクルショップなどを活用する  |              | ●          |             |          |               |            |
|                       | 〈リサイクルの工夫〉          |              |            |             |          |               |            |
|                       | ■ 資源は分別してリサイクルする    |              |            |             | ●        |               |            |
|                       | 〈ルール遵守の工夫〉          |              |            |             |          |               |            |
| ■ ごみ出しルールやマナーを守る      |                     |              |            | ●           |          |               |            |
| ■ 危険ごみ・有害ごみは正しく出す     |                     |              |            | ●           |          |               |            |
| ■ 家電製品などは販売店に引き取ってもらう |                     |              |            | ●           |          |               |            |
| 住まいへの配慮               | 〈水を汚さない工夫〉          |              |            |             |          |               |            |
|                       | ■ 公共下水道を適正に利用する     |              |            |             |          | ●             |            |
|                       | ■ 合併処理浄化槽を設置する      |              |            |             |          | ●             |            |
|                       | ■ 定期的に浄化槽を清掃・点検する   |              |            |             |          | ●             |            |
|                       | 〈水利用の工夫〉            |              |            |             |          |               |            |
|                       | ■ 雨水をためて活用する        |              |            |             |          | ●             |            |
|                       | ■ 雨水浸透ますを設置する       |              |            |             |          | ●             |            |
|                       | 〈緑化の工夫〉             |              |            |             |          |               |            |
|                       | ■ 庭やベランダに植栽する       |              |            |             | ●        |               |            |
|                       | 〈エコ住宅の工夫〉           |              |            |             |          |               |            |
| ■ 高断熱・高气密化する          |                     |              |            |             | ●        |               |            |
| ■ 太陽光発電機器を設置する        |                     |              |            |             | ●        |               |            |
| ■ 太陽熱利用機器を設置する        |                     |              |            |             | ●        |               |            |
| ■ 環境に配慮した住宅リフォームをする   |                     |              |            |             | ●        |               |            |
| ■ 家庭用燃料電池を導入する        |                     |              |            |             | ●        |               |            |
| ■ 住宅を ZEH にする         |                     |              |            |             |          | ●             |            |
| 周辺への配慮                | 〈住環境への配慮〉           |              |            |             |          |               |            |
|                       | ■ 環境美化活動へ積極的に参加する   |              | ●          |             |          |               |            |
|                       | ■ 環境問題について学習する      |              | ●          |             |          |               |            |
|                       | ■ 付近に迷惑になるような音を出さない |              |            | ●           |          |               |            |
|                       | ■ 自宅周辺の清掃に努める       |              |            | ●           |          |               |            |
|                       | ■ ポイ捨て防止に努める        |              |            | ●           |          |               |            |
|                       | 〈生物多様性への配慮〉         |              |            |             |          |               |            |
| ■ その土地にいなかった動植物を移入しない |                     |              | ●          |             |          |               |            |
| ■ 生息・生育場所を荒らさない       |                     |              | ●          |             |          |               |            |

## 省エネルギーの工夫

### 5. 家の中での配慮

#### [1] きっかけづくりプログラム

#### ～見て、知って、こつこつはじめる！～

家庭の中でできる環境配慮行動として、「省エネルギーの工夫」を取り上げます。

「きっかけづくりプログラム」では、実践者が少ない環境配慮行動について、多くの人に知ってもらい、試しに参加・実施してもらうためのきっかけを用意します。

#### (1) 電池

<地球環境・エネルギー>

#### 充電式タイプの電池を使う

##### <取組みの内容>

- ▼ 充電式タイプの電池は、充電性能が飛躍的に向上し、広く普及しつつあります。そこで、従来型の使い捨て乾電池をやめ、この充電式タイプを優先的に利用します。
- ▼ 充電式タイプも各種サイズが揃っているため、家庭で使う乾電池製品にあわせて用意します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 今まで使い捨てていた乾電池ごみをゼロにすることができます。
- ▼ 乾電池を買いだめする必要がなくなります。使おうと思った時に乾電池がなく、困ることがなくなります。



## 省エネルギーの工夫

### (2) 照明器具

<地球環境・エネルギー>

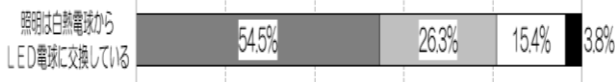
#### 白熱電球を蛍光ランプやLEDに替える

##### <取組みの内容>

- ▼ 蛍光ランプにはフィラメントがなく、長寿命です。また、消費する電力も、白熱電球に比べ小さくて済みますので、白熱電球を蛍光ランプに交換しましょう。
- ▼ 蛍光ランプよりも、さらに長寿命で、省電力なLEDランプに交換すると、さらなる省エネが期待できます。

##### <取組みの普及状況>

- ▼ 「実施している」…54.5%
- ▼ 「時々実施している」…26.3%



▲出典 平成29年度 市民アンケート調査結果

##### <取組みによる変化>

- ▼ 電球形蛍光ランプに取り替える  
⇒年間で電気 84.00kWh の省エネ  
⇒約 2,270 円の節約

※54W の白熱電球から 12W の電球形蛍光ランプに交換した場合

- ▼ 電球形LEDランプに取り替える  
⇒年間で電気 90.00kWh の省エネ  
⇒約 2,430 円の節約

※54W の白熱電球から 9W の電球形LEDランプに交換した場合

▲出典 省エネカタログ winter2017(P77.79)

## トピックス ■照明器具のあれこれ

### ○白熱電球、蛍光ランプ、LEDランプの違い

製品価格は白熱電球が最も安く、LEDが最も高くなっていますが、逆に、LEDが年間電気代は最も安く、寿命も長くなっています。

|                | 白熱電球60W相当         | 電球形蛍光ランプ                          | 電球形LEDランプ(昼光色)                     |
|----------------|-------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 製品価格           | 100円程度            | 700～1,200円程度                      | 1,000～3,000円程度                     |
| エネルギー効率 (lm/W) | 15<br>(54W、810lm) | 68<br>(12W、810lm)                 | 90<br>(9.4W、850lm)                 |
| 年間電気代*         | 2,920円/年          | 650円/年                            | 510円/年                             |
| 寿命             | 1,000時間           | 6,000～10,000時間                    | 40,000時間                           |
| 省エネ特徴          |                   | 省電力(白熱電球の約1/4)<br>長寿命(白熱電球の6～10倍) | 省電力(蛍光ランプの約3/4)<br>長寿命(蛍光ランプの4～7倍) |
| 発光技術           | フィラメントで高温発光       | 熱を抑え放電により発光                       | 全く新しいLED発光                         |

白熱電球 60W 相当品での比較です。(※年間電気代は、1日 5.5 時間点灯した場合の目安電気料金です。)

▲参考 省エネカタログ winter2017(P81)

### ○電球形LEDランプの長所

LEDランプは、電球形蛍光ランプの技術をベースとして、ランプの部分をLED(発光ダイオード)にした製品であり、以下のような長所があります。

#### ●長寿命

約4万時間。1日10時間点灯で約10年もつといわれています。

#### ●調光・点滅が自在

スイッチのON/OFFを繰り返しても寿命に影響が出にくい。調光ができるので、明るさを変えられます。(調光器対応型製品)

#### ●紫外線が少ない

絵画や写真などの色あせを減らすことができます。虫がよりにくというメリットもあります。

#### ●熱が少ない

光自体には熱が少ないので、夏等に暑さを感じにくくなります。

▲参考 省エネカタログ winter2017(P80)

## 省エネルギーの工夫

### (1) テレビ

<地球環境・エネルギー>

#### テレビのつけっぱなしは要注意

##### <取組みの内容>

- ▼ リモコンでこまめに電源を OFF にしましょう。リモコンは待ち状態でもテレビはエネルギーを消費しています。旅行など長期不在の時は、プラグを抜くようにしましょう。ゲームが終わったらテレビも OFF にしましょう。
- ▼ テレビの画面は、静電気でホコリを寄せつけやすいので、汚れやすいものです。ホコリがあると暗く見えます。1週間に1度は乾いた柔らかい布でふきましょう。明るさを調節する前に、画面の掃除をしましょう。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 画面は明るすぎないように  
⇒年間で電気 27.10kWh の省エネ  
⇒約 730 円の節約

※テレビ(32V 型)の画面の輝度を最適にした場合

- ▼ テレビを見ないときに消す  
⇒年間で電気 16.79kWh の省エネ  
⇒約 450 円の節約

※1 日1時間テレビ(32V 型)を見る時間を減らした場合

▲出典 省エネカタログ winter2017(P33)

## [2] 普及・拡大プログラム

### ～「ひとり」から「みんな」へ！～

家庭の中でできる環境配慮行動として、「省エネルギーの工夫」、「節水の工夫」、「水を汚さない工夫」の3つを取り上げます。

「普及・拡大プログラム」では、すでに一部に実践の芽が出始めている環境配慮行動について普及拡大の勢いをつけるため、その取組みを紹介し、実践しやすい環境を整えていきます。

## 省エネルギーの工夫

### (2) エアコン

<地球環境・エネルギー>

夏は 28℃、冬は 20℃に

#### <取組みの内容>

- ▼ 冷暖房を使用するときは、ドア、窓の開閉は少なくしましょう。外出時は、昼間でもカーテンを閉めると効果的です。
- ▼ 扇風機を上手に使って空気を循環させましょう。
- ▼ 定期的に、フィルターのお掃除をしましょう。

#### <取組みによる変化>

- ▼ 夏の冷房時の室温は 28℃を目安に。  
⇒年間で電気 30.24kWh の省エネ  
⇒約 820 円の節約
- ▼ 冬の暖房時の室温は 20℃を目安に。  
⇒年間で電気 53.08kWh の省エネ  
⇒約 1,430 円の節約
- ▼ フィルターを月に1回か2回清掃。  
⇒年間で電気 31.95kWh の省エネ  
⇒約 860 円の節約

※フィルターが目詰まりしているエアコン(2.2 kW)とフィルターを清掃した場合の比較

▲出典 省エネカタログ winter2017(P20)

## 節水の工夫

### (3) トイレ

<水・水循環>

トイレの大小レバーを使い分ける

#### <取組みの内容>

- ▼ 大・小のレバーを使い分けることで、必要なだけ水を流すようにします。



- ▼ 少ない水量で流すことのできる最新の節水トイレに交換することでも、節水効果が期待できます。

#### <取組みによる変化>

- ▼ レバーを大から小に切り替えることで、  
⇒ 1回あたり最大 2リットルの節水  
▲出典 TOTO ホームページ「節水で、節電」



## 節水の工夫

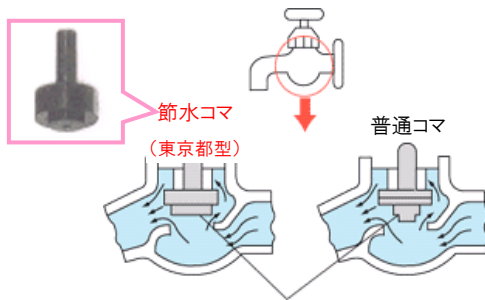
### (4) 水道

<水・水循環>

#### 節水機器を使う

##### <取組みの内容>

- ▼ 節水型の機器を使うことで、毎日の生活の中で意識せずに節水することができます。たとえば、水道に節水コマを取り付けます。



節水コマは、コマの下部分が普通コマより大きくなっています。

※ シングルレバー式の蛇口には使用できません。

▲出典 東京都水道局ホームページ

- ▼ シングルレバー式の蛇口の場合は、止水栓を絞ることで水量を調節できます。また、節水型シャワーヘッド等に交換する方法もあります。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 台所・洗面所のように流し洗いをすると、節水コマを使用すると、  
⇒ 1分間に最大で約6リットル節水

▲出典 東京都水道局ホームページ「水の上手な使い方」

## 節水の工夫

### (5) 洗濯・風呂

<水・水循環>

#### 風呂の残り湯を使う、まとめ洗いをする

##### <取組みの内容>

- ▼ 風呂のそばに洗濯機がある場合は、市販の洗濯ポンプなどを使って残り湯を洗濯に使います。

##### 洗濯ポンプ(バスポンプ)

風呂の残り湯を洗濯に利用するには、浴槽から洗濯機にお湯を移さなければなりません。そこで、活躍するのが洗濯ポンプ(バスポンプ)です。ポンプ単体でも販売されていますが、ポンプが付属する洗濯機も登場しています。

これで、残り湯の有効利用はばっちりです！



##### <取組みによる変化>

- ▼ 風呂の残り湯 90リットルを毎日洗濯や庭の水やりなどに使用すると、  
⇒ 約540g(1回 18g×30日)のCO<sub>2</sub>削減  
⇒ 約650円/月の節約

▲出典 東京都水道局ホームページ「水の上手な使い方」

- ▼ シャワーをこまめに止めて使うと、  
⇒1回あたり約8リットルの節水  
⇒1か月で約960リットルの節水

▲出典 TOTO ホームページ「節水で、節電」

## 水を汚さない工夫

### (6) 風呂

<水・水循環>

#### 石けんシャンプーを使う

##### <取組みの内容>

- ▼ 石けん素材のシャンプーを適量使います。
- ▼ 石けん素材かどうかは、成分表示を見て判断します。「石けん素地」「石けん分」「脂肪酸ナトリウム」「脂肪酸カリウム」が主成分と書かれていれば石けんシャンプーです。
- ▼ 特に合併処理浄化槽で汚水を処理している場合は、微生物により分解されやすい石けんが効果的です。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 石けんであっても適量を守ることが大切です。適量使用で汚水処理の負担を減らすことができます。
- ▼ 合成洗剤にありがちな使用後のぬるぬる感がなく、また手あれもしにくいとされています。また、石けんには香料が無添加のものもあります。

## 水を汚さない工夫

### (7) 台所

<水・水循環>

#### 油汚れはまずふき取る

##### <取組みの内容>

- ▼ 油汚れはそのまま排水に流さず、ふき取ってから洗います。また、廃食用油は凝固材で固めたり、新聞に吸わせたりしてから洗います。
- ▼ 廃食用油を回収して石けんを作る取り組みをする事業者や団体もあります。また、市が資源として回収した廃食用油は飼料として再生利用しています。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 洗いやすすぎの水だけでなく、洗剤の量も減らすことができます。
- ▼ 汚水処理への負担を減らすことができます。

## 省エネルギーの工夫

### (1) エアコン

<地球環境・エネルギー>

#### カーテンやブラインドを上手に使う

##### <取組みの内容>

- ▼ 冷房時も暖房時も、カーテンやブラインドを上手に使って、温度差のある室内の空気と外気とが接触するのをシャットアウトします。
- ▼ ゴーヤやアサガオなどのツル性の植物を、窓の外や壁面に張ったネットにはわせる「緑のカーテン」も、大きな効果があります。
- ▼ 暖房時には厚手のカーテンが効果的です。



※大和市立小学校の緑のカーテンの取組み

##### <取組みによる変化>

- ▼ 夏はカーテンやブラインドを使って、窓からの直射日光を防ぎましょう。日差しによる熱の進入を約30%カットすることができます。

▲参考 FUJITSU GENERAL ホームページ「エアコンの上手な使い方 節電のポイント」

## [3] レベルアッププログラム

### ～トッパーランナーを追いかけろ！～

家庭の中でできる環境配慮行動として、「省エネルギーの工夫」、「水を汚さない工夫」の2つを取り上げます。

「レベルアッププログラム」では、すでに普及している環境配慮行動について、高いレベルの取組みに照準をあわせて、底上げのための対策を行っていきます。

## トピックス ■ 熱中症は予防が一番

### ○ 熱中症を知ってしっかり予防し、楽しい夏を過ごしましょう

熱中症とは、温度や湿度が高い中で、体内の水分や塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れ、体温の調整機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどいときには、けいれんや意識の異常など、様々な障害をおこす症状のことです。

家の中でじっとしていても室温や湿度が高いために、体から熱が逃げにくく熱中症になる場合がありますので、注意が必要です。

- 部屋の温度をこまめにチェックしましょう
- 室温 28℃を超えないようにエアコンや扇風機を上手に使いましょう
- のどが渇かなくてもこまめに水分補給
- 外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策も
- 無理をせずに適度に休憩を
- 日頃から栄養バランスの良い食事を体力づくりを

▲ 出典 総務省消防庁チラシ「熱中症を予防して元気な夏を！」

エアコン、  
扇風機を  
使おう



## 省エネルギーの工夫

### (2) 調理

<地球環境・エネルギー>

#### 電子レンジを上手に使う

##### <取組みの内容>

- ▼ 野菜の下ごしらえに電子レンジを使いましょう。時間短縮にもなり、ビタミン C の損失が抑えられます。
- ▼ 煮込み料理の野菜は、電子レンジで火を通してから、鍋に入れてガスコンロにかけましょう。早く煮えて、煮崩れも少なくなります。
- ▼ 中まで火を通したいときは、ガスコンロで焦げ目をつけたあと、電子レンジを使いましょう。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 青菜(ほうれん草、きゃべつ)の下ごしらえをガスコンロから電子レンジに替えた場合
    - ⇒ 年間約 7.8kg の CO<sub>2</sub> を削減
    - ⇒ 年間約 1,140 円の節約
- ▲出典 省エネ性能カタログ winter2017(P68)

## 水を汚さない工夫

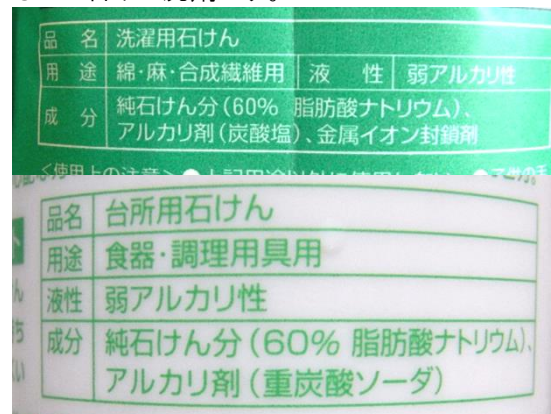
### (3) 洗濯・台所

<水・水循環>

#### 石けん洗剤を適量使う

##### <取組みの内容>

- ▼ 石けん素材の台所用・洗濯用洗剤を使います。石けん洗剤かどうかは、パッケージをよく見て判断します。「台所用石けん」「洗濯用石けん」と書いてあるものが石けん洗剤です。



※ 石けんの表示(上段:洗濯用石けん、下段:台所用石けん)

- ▼ 特に合併処理浄化槽で汚水を浄化している場合は、微生物により分解されやすい石けんが効果的です。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 石けんであっても適量を守ることが大切です。適量使用で汚水処理の負担を減らせます。
- ▼ 合成洗剤にありがちな使用後のぬるぬる感がなく、また手あれもしにくいとされています。

## 省エネルギーの工夫

### (1) エアコン

<地球環境・エネルギー>

冷暖房は必要なときだけつける

#### <取組みの内容>

- ▼ 快適な室温になったらこまめにスイッチをオフするか弱運転などに切り替えます。

#### <取組みによる変化>

- ▼ 冷房は必要なときだけつける。設定温度28℃で1日1時間短縮した場合、  
⇒ 年間で電気 18.78 kWh の省エネ  
⇒ 約 510 円の節約
- ▼ 暖房は必要なときだけつける。設定温度20℃で1日1時間短縮した場合、  
⇒ 年間で電気 40.73 kWh の省エネ  
⇒ 約 1,100 円の節約

#### 【もうひと工夫】

風向板の調整

風向板は冷房では水平、暖房では下向きにする。

タイマー機能

タイマーを上手に使い、必要な時間だけ運転しましょう。

▲出典 省エネ性能カタログ winter2017(P20)



## [4] 習慣化プログラム

### ～もう一歩！ライフ・スタンダードへ～

家庭の中でできる環境配慮行動して、「省エネルギーの工夫」、「節水の工夫」の2つを取り上げます。

「習慣化プログラム」では、すでに高いレベルで普及し、かつ個人差の小さな環境配慮行動について、それを暮らしの中に習慣化させ定着させるための対策を行っていきます。



## 省エネルギーの工夫

### (2) 照明

<地球環境・エネルギー>

#### 照明をつける時間を短くする

##### <取組みの内容>

- ▼ 誰もいない部屋、廊下の照明をこまめに消します。
- ▼ 自然光を遮断せず上手に取り入れる工夫をすることで、照明の使用を減らします。
- ▼ 人の有無をセンサーが感知し、スイッチオン/オフする照明も発売されています。出入りの多いトイレや洗面所では、消し忘れをなくすことができます。

##### 【かしこい照明】

###### 消し忘れ防止のかしこいスイッチ

庭園灯や門灯にタイムスイッチ付き器具を用いると、必要な時間帯だけ点灯します。スマートかつ省エネです。

###### 人感センサー

玄関到人感センサー付きの照明器具をつけると、玄関に入るとすぐ点灯。暗がりですwitchを探すこともなく、消し忘れもありません。

###### 遅延スイッチ付き照明器具

廊下に遅延スイッチ付きの照明器具をつけると、点灯してそのまま通り過ぎても、しばらくすると消灯。消し忘れはありません。

▲出典 省エネルギーセンターパンフレット「かしこい住まい方ガイド」(P5)

##### <取組みによる変化>

- ▼ 54Wの白熱電球1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合、  
⇒ 年間で電気 19.71kWh の省エネ  
⇒ 年間約 530 円の節約
- ▼ 12Wの蛍光灯1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合、  
⇒ 年間で電気 4.38kWh の省エネ  
⇒ 年間約 120 円の節約

▲出典 省エネ性能カタログ winter2017(P77)

## 省エネルギーの工夫

### (3) 冷蔵庫

<地球環境・エネルギー>

#### 冷蔵庫は、詰め込まず、開閉回数を減らす

##### <取組みの内容>

- ▼ 詰め込みすぎず、冷蔵庫内にバランスよく収めることで、冷気の流れをスムーズにします。
- ▼ 買い過ぎないように冷蔵庫の中身をチェックしてから買い物する、冷蔵の必要ないものは外で保存するなどの工夫をします。
- ▼ 取り出すときは、ドアの開閉は手早くしましょう。ドアのパッキンの傷みに注意しましょう。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 冷蔵庫への詰め込み過ぎをなくすことで、  
⇒ 年間で電気 43.84kWh の省エネ  
⇒ 年間約 1,180 円の節約
- ▼ 無駄な開閉をしないことで、  
⇒ 年間で電気 10.40kWh の省エネ  
⇒ 年間約 280 円の節約

##### 【もうひと工夫】

###### 熱いものは冷ましてから保存

麦茶やカレー、シチューなど、温かいものをそのまま冷蔵庫へ入れていませんか？庫内の温度が上がり、冷やすのに余分なエネルギーが消費されるのでご注意ください。

###### 冷蔵庫の中の整理を

ずっと前に食べ残した食品が、冷蔵庫の奥で眠っていませんか？「とりあえず保存」は、結局食べずに捨てられることが多いようです。また、常温で保存できるものを冷蔵庫に入れていませんか？缶詰、びん詰や調味料は、未開封なら冷蔵庫へ入れる必要はありません。

▲出典 省エネ性能カタログ winter2017(P47)

## 省エネルギーの工夫

### (4) 調理

<地球環境・エネルギー>

適切な火力で、ふたをするなど工夫して調理する

#### <取組みの内容>

- ▼ 必要以上に火力を大きくせず調理します。なべ底からコンロの火がはみ出さないことが目安です。
- ▼ お湯を沸かしたり煮物をするときには、ふたをします。

#### <取組みによる変化>

- ▼ 炎がなべ底からはみ出さないように調節すると、  
⇒ 年間でガス 2.38m<sup>3</sup>の省エネ  
⇒ 年間約 410 円の節約

▲出典 資源エネルギー庁ホームページ



## 節水の工夫

### (5) 台所・風呂

<水・水循環>

こまめに水道を止める

#### <取組みの内容>

- ▼ 歯磨きをするときや、シャワーを使用するとき、水やお湯の流しっぱなしを止めます。
- ▼ 食材などを洗うときにも、水を流したままにしないようにします。食器の汚れが落ちやすいよう、ためた水につけておきます。

#### <取組みによる変化>

- ▼ 歯磨きのときコップで口をすすぐと、  
⇒ 1回あたり約 5.4 リットル  
1か月で約 1,296 リットルの節水  
▲出典 TOTO ホームページ「節水で、節電。」
- ▼ シャワーは不必要に流したままにせず、45°Cの湯を流す時間を1分間を減らすと、  
⇒ 年間でガス 12.78 m<sup>3</sup>の省エネ  
年間で約 2,190 円の節約  
⇒ 年間で水道 4.38 m<sup>3</sup>の省エネ  
年間で約 1,000 円の節約  
▲出典 資源エネルギー庁ホームページ





## 省エネルギーの工夫

### [5] チャレンジプログラム

#### ～目指せ、「環境マスター」!～

家庭の中でできる環境配慮行動として、「省エネルギーの工夫」を取り上げます。

「チャレンジプログラム」は、新たな観点で実践できる環境配慮行動です。

#### (1) 脱エアコン

<地球環境・エネルギー>

#### 太陽の熱や風と上手につきあう

##### <取組みの内容>

- ▼ 夏場のエアコンは、室内の熱を屋外に捨てることで快適な温度を保ってくれています。しかし、多くの人がエアコンを使用すればするほど、廃熱は外気をますます上昇させ、さらにエアコンの使用を助長することになります。
- ▼ くらしの中でさまざまな工夫を行い、エアコンに依存しない過ごし方にチャレンジしてみましょう。
- ▼ 熱を室内にためないためには、日陰を作ったり、また葉の蒸散作用で周辺の温度を下げる効果のある植物を上手に活用したりします。また、コンクリートなど蓄熱性の高い構造物に直射日光を当てないようにしたり、打ち水をしたりするなど、さまざまな工夫が考えられます。

##### <取組みによる変化>

- ▼ エアコンが原因の体調不良を避けることができます。
- ▼ 夏の電力消費量を削減でき、発電所の負担を軽減できます。
- ▼ ヒートアイランド現象の軽減につながり、夏の猛暑を抑えたり、豪雨のリスクを減らしたりすることにつながると考えられます。

## 脱自動車のための工夫

### 6. 出かけるときの配慮

#### [1] 普及・拡大プログラム

～「ひとり」から「みんな」へ！～

出かけるときの環境配慮行動として、「脱自動車のための工夫」、「エコドライブの工夫」の2つを取り上げます。

「普及・拡大プログラム」では、すでに一部に実践の芽が出始めている環境配慮行動について普及拡大の勢いをつけるため、その取組みを紹介し、実践しやすい環境を整えていきます。

#### (1) 公共交通機関

<地球環境・エネルギー・空気>

##### 公共交通機関を利用する

###### <取組みの内容>

- ▼ 自家用車に頼らず、できるだけ鉄道やバスなどの公共交通機関を利用します。



※大和市のコミュニティバス「のろっと」「やまとん GO」

###### <取組みによる変化>

- ▼ 自家用車の年間走行距離が5,000kmで、この1割(500km)分を公共交通機関に切り替えると、  
⇒ 年間約7,500円の節約  
※ 燃費10km/リットル、ガソリン単価150円/リットルの場合
- ▼ 公共交通機関の利用者が増えれば、公共交通の安定的な運営を支えていくことにつながります。
- ▼ 自家用車の利用が減れば渋滞の解消につながり、ひいては大気汚染やヒートアイランド現象などを軽減することにつながります。

## エコドライブの工夫

### (2) 自動車の運転

<地球環境・エネルギー・空気>

#### エコドライブを心がける

##### <取組みの内容>

- ▼ 自動車を運転するときは、「エコドライブ(環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用)10のすすめ」を実践します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 「エコドライブ10」を実施した場合には、燃費が改善するほか、安全運転につながります。

### トピックス■エコドライブ 10 のすすめ

エコドライブの取組みについては、平成15年度に国が「エコドライブ10のすすめ」を策定し、普及促進を図ってきたところです。エコドライブは、燃費向上だけでなく、安全運転にもつながります。

#### 1. ふんわりアクセル「eスタート」

発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう。日々の運転において、やさしい発進を心がけるだけで、10%程度燃費が改善します。

#### 2. 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

走行中は、一定の速度で走ることを心がけましょう。車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では2%程度、郊外では6%程度燃費が悪化します。

#### 3. 減速時は早めにアクセルを離そう

信号が変わるなど停止することがわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。そうすると、エンジンブレーキが作動し、2%程度燃費が改善します。

#### 4. エアコンの使用は適切に

車内の温度設定を外気と同じ25°Cに設定した場合、エアコンスイッチをONにしたままだと、12%程度燃費が悪化します。

#### 5. ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐停車の際は、アイドリングをやめましょう。10分間のアイドリングで、130CC程度の燃料を消費します。

#### 6. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や、地図・カーナビなどを活用して、行き先やルートをあらかじめ確認し、時間に余裕をもって出発しましょう。10分間余計に走行すると17%程度燃料消費量が増加します。

#### 7. タイヤの空気圧から始める点検・整備

タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう。タイヤの空気圧が適正値より不足すると、市街地では2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します。また、エンジンオイル・オイルフィルタ・エアクリーナエレメントなどの定期的な交換によっても燃費が改善します。

#### 8. 不要な荷物はおろそう

運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。100kgの荷物を載せて走ると、3%程度も燃費が悪化します。また、車の燃費は、空気抵抗にも敏感です。スキーキャリアなどの外装品は、使用しないときは外しましょう。

#### 9. 走行の妨げとなる駐車はやめよう

迷惑駐車はやめましょう。交差点付近などの交通の妨げになる場所での駐車は、渋滞をもたらします。迷惑駐車は、他の車の燃費を悪化させるばかりか、交通事故の原因にもなります。

#### 10. 自分の燃費を把握しよう

自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、エコドライブ効果が実感できます。車に装備されている燃料計・エコドライブナビゲーション・インターネットでの燃費管理などのエコドライブ支援機能を使うと便利です。

▲参考 JAF チラシ「エコドライブ 10 のすすめ」

## エコ・ドライブの工夫

### (3) 自動車利用

<地球環境・エネルギー・空気>

#### 相乗りする

##### <取組みの内容>

- ▼ 友人、知人と声を掛け合って、出かける用事や方向が同じ場合、相乗りすることを心がけます。

##### <取組みによる変化>

- ▼ それぞれが自動車で移動することと比べると、全体の燃料消費量を減らすことができ、燃料代の節約につながります。
- ▼ 自動車の走行台数を減らすことができ、交通渋滞の軽減、温室効果ガス排出量の削減につながります。

## 脱自動車のための工夫

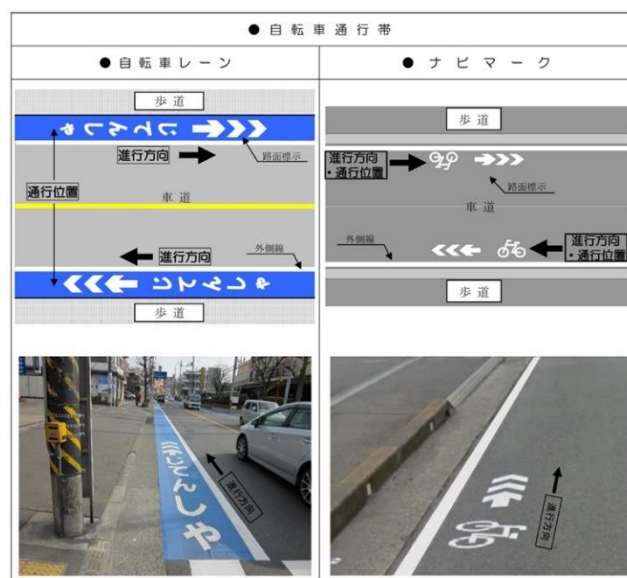
### (1) 徒歩・自転車利用

<地球環境・エネルギー・空気>

#### 徒歩や自転車に切り替える

##### <取組みの内容>

- ▼ できるだけ、環境によいだけでなく運動にもなる徒歩や自転車利用を心がけます。



※大和市の自転車通行帯

##### <取組みによる変化>

- ▼ 一人が1km移動する際のCO<sub>2</sub>排出量を削減することができます。
  - ⇒ 自家用車と比較すると、CO<sub>2</sub>排出量をバスでは1/2、鉄道では1/7に減らすことができます。
- ▲ 出典 国土交通省チラシ「『エコ通勤』で、変えようあなたのまち」

## [2] レベルアッププログラム

### ～トップランナーを追いかける！～

出かけるときの環境配慮行動として、「脱自動車のための工夫」を取り上げます。

「レベルアッププログラム」では、すでに普及している環境配慮行動について、高いレベルの取組みに照準をあわせて、底上げのための対策を行っていきます。

## エコ・ドライブの工夫

### (1) 交通ルール

<地球環境・エネルギー・空気>

#### 迷惑駐車をしない

##### <取組みの内容>

- ▼ 交通の流れを乱し渋滞を招く路上駐車をしません。
- ▼ 路上駐車は、歩行者などを視認する妨げとなり、交通事故の原因ともなります。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 渋滞等に伴う環境面の悪化を防ぐことができます。
- ▼ 自動車だけでなく、歩行者や自転車の交通の妨げとなることを防げます。
- ▼ 駐車車両のかけからの歩行者や自転車の飛び出しによる事故を未然に防げます。

## [3] 習慣化プログラム

### ～もう一歩！ライフ・スタンダードへ～

出かけるときの環境配慮行動として、「エコ・ドライブの工夫」を取り上げます。

「習慣化プログラム」では、すでに高いレベルで普及し、かつ個人差の小さな環境配慮行動について、それを暮らしの中に習慣化させ定着させるための対策を行っていきます。

## エコカーの購入

### (1) 次世代自動車

<地球環境・エネルギー・空気>

#### 次世代自動車を購入する

##### <取組みの内容>

- ▼ 低排出ガス車認定制度：低排出ガス車認定制度は、燃料の種類を問わず自動車排出ガスの低排出ガス性(クリーン度)を、性能面から示す技術的指標に適合していることを認定する制度です。窒素酸化物(NOx)や粒子状物質(PM)等の有害物質の排出が平成12年基準排出ガスレベルより25%、50%、75%低減されている自動車を認定しています。これらには次のステッカーが貼付されています。



- ▼ 燃費性能：省エネ法による燃費基準値以上の性能を持つ自動車には、「燃費基準達成車」としてステッカーが貼付されています。



▲出典 国土交通省、経済産業省資料

##### <取組みの普及状況>

- ▼ 自動車を所有する人のうち、15.0%がクリーンエネルギー自動車(ハイブリッドカーを含む)を選択。

※出典 平成29年度市民アンケート調査

##### <取組みによる変化>

- ▼ 年々強化される排出ガス規制に適合した自動車に切り替えることで、大気汚染物質の排出量を低減できます。
- ▼ 燃費の良い自動車に切り替えることで、燃料消費量を減らし、燃料代を節約できます。

## [4] 環境関連機器普及プログラム

### ～選ぶ「目」をやしなおう！～

出かけるときの環境配慮行動として「エコカーの購入」を取り上げます。



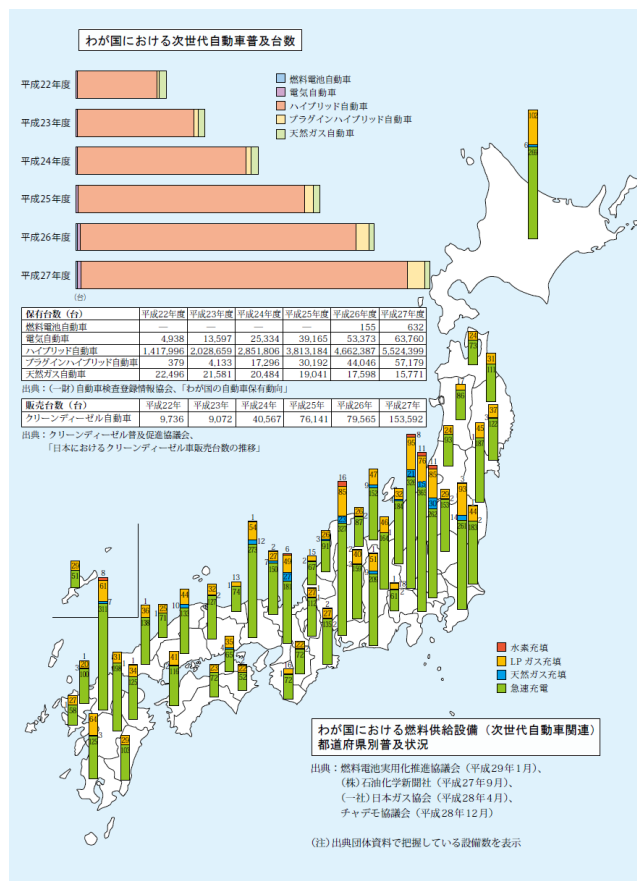
## トピックス ■ 次世代自動車について

エネルギー制約の高まり、地球温暖化対策の観点から、エネルギー効率やCO<sub>2</sub>排出量に優れた性能を持つ、次世代自動車は世界中で注目されています。

### ○次世代自動車とは

国は、ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車等を、「次世代自動車」と定め、2030年までに新車乗用車の5～7割を次世代自動車とする目標を掲げています。

### ○日本の次世代自動車普及台数



▲出典 次世代自動車戦略 2016-2017

## ○電気自動車・ハイブリッド自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車のそれぞれの特徴

### ●EV(電気自動車)

電気自動車は、外部電源から車載のバッテリーに充電した電気を用いて、電動モーターを動力源として走行する車です。走行時のCO<sub>2</sub>排出量はゼロ。

### ●HV(ハイブリッド自動車)・PHV(プラグインハイブリッド自動車)

ガソリンエンジンや電気モーターなど2つ以上の動力源をもつハイブリッド自動車のうち、プラグを差し込んで外部から充電できる車をプラグインハイブリッド自動車といいます。電気自動車よりも長距離を走行できるとされています。

### ●FCV(燃料電池自動車)

水素と空気中の酸素を化学反応させて電気を作る「燃料電池」を搭載し、そこで作られた電気を動力源としてモーターで走行する車です。燃料となる水素は多種多様な原料から作ることができます。走行中に排出されるのは、水のみでCO<sub>2</sub>の排出はゼロ。

### ○充電スポット

電気自動車を販売しているカーディーラーはもちろん、コンビニやスーパーマーケットをはじめとした商業施設など、日常よく訪れる場所にも充電器が数多く設置されています。また、高速道路のサービスエリアや道の駅など、長距離移動時の幹線道路沿いにも整備されており、休憩時間や買い物ついでに充電する人も多く見られます。

▲参考 一般財団法人次世代自動車振興センターホームページ



※ 大和市の電気自動車と急速充電器



## 地産地消の工夫

### 7. 買い物での配慮

#### [1] きっかけづくりプログラム

～見て、知って、こつこつはじめる！～

買い物での環境配慮行動として、「地産地消の工夫」を取り上げます。

「きっかけづくりプログラム」では、実践者が少ない環境配慮行動について、多くの人に知ってもらい、試しに参加・実施してもらうためのきっかけを用意します。

#### (1) 農産物

<緑・生物・景観・産業・都市空間>

#### 朝市等を利用する

##### <取組みの内容>

- ▼ 日曜朝に引地台公園で開かれている大和市民朝霧市(写真)や、木曜夕方に中央林間スポーツ広場で開かれている大和市民夕やけ市などを利用します。



- ▼ 市内の農家と農業を守るだけでなく、食の安心・安全確保、輸送による環境負荷(フードマイレージ)低減に役立ちます。

##### <取組みによる変化>

- ▼ フードマイレージの小さい地元産の農産物を購入することで、輸送で発生するCO<sub>2</sub>を減らすことができます。

### トピックス ■ フードマイレージ

#### ○ フードマイレージ

英国で始まった考え方で、直訳すると「食料の輸送距離」。食料の生産地から消費者の食卓に並ぶまでの輸送にかかった「重さ×距離」で表しています。このため、遠く離れた生産地から届く食料には多くのエネルギーが使われ、CO<sub>2</sub>などが多く排出されていることとなります。

## 地産地消の工夫

### (1) 農産物

<緑・生物・景観・産業・都市空間>

#### 地元産の農産物を優先購入する

##### <取組みの内容>

- ▼ さがみ農協の農産物直売所を利用します。
- ▼ また、スーパー等でばら売りされている地元産の農産物を購入します。



##### <取組みによる変化>

- ▼ フードマイレージの小さい地元産の農産物を購入することで、輸送で発生するCO<sub>2</sub>を減らすことができます。

## エコ・ショッピングの工夫

### (1) マイバッグ

<資源>

#### マイバッグを利用する

##### <取組みの内容>

- ▼ 買い物の際にマイバッグを持参します。
- ▼ 最近はいろいろなマイバッグ、ショッピングバッグが手に入るようになってきています。
- ▼ レジチェックした商品をそのまま持ち帰れるように工夫されたマイバッグもあり、移し替えの手間を省いてくれます。



##### <取組みによる変化>

- ▼ マイバッグを持ち歩くことで、レジ袋を減らすことにつながり、結果 CO<sub>2</sub> 削減につながります。
- ▼ レジ袋の有料化の動きが進んでいる中で、レジ袋を購入する出費を抑えることができます。

## [2] 普及・拡大プログラム

### ～「ひとり」から「みんな」へ！～

買い物での環境配慮行動として、「エコ・ショッピングの工夫」を取り上げます。

「普及・拡大プログラム」では、すでに一部に実践の芽が出始めている環境配慮行動について普及拡大の勢をつけるため、その取組みを紹介し、実践しやすい環境を整えていきます。

## エコ・ショッピングの工夫

### (2) リース・レンタル

<音・美化・環境保全活動>

#### リースやレンタルを活用する

##### <取組みの内容>

- ▼ 乳幼児商品など使用する期間が限定されるもの、スーツケースのように年間の使用頻度が少ないものは購入せず、リースやレンタルを上手に活用します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ リースやレンタルでは、使用期間(契約期間)が終了した商品は回収されるため、粗大ごみとする必要がなくなります。
- ▼ 市では以下の粗大ごみ処理手数料を徴収しているため、この分の節約ができます。
  - ・ 粗大ごみ： 1 個 500 円
  - ・ 大型粗大ごみ： 1 個 1,000 円

## エコ・ショッピングの工夫

### (3) 環境ラベル

<音・美化・環境保全活動>

#### エコマークを目安に商品を選ぶ

##### <取組みの内容>

- ▼ 製品のライフサイクル(資源採取～製造～流通～使用消費～廃棄～リサイクルの各段階)全体での環境負荷を考慮して付けられるエコマークを目安に商品を選択します。



##### <取組みによる変化>

- ▼ エコマークを目安にすることで、より簡単に環境配慮商品を選択、購入することができ、グリーン購入につながります。

### トピックス ■ エコマーク

#### ○エコマーク

公益財団法人日本環境協会が実施している事業で、生産から廃棄にわたるライフサイクル全体で環境保全に役立つと認められた商品にラベルをつけています。消費者に環境を意識した選択を行ってもらうとともに、企業には環境改善努力を進めてもらう目的で行われています。

## エコ・ショッピングの工夫

### (3) 省エネラベル

＜音・美化・環境保全活動＞

#### 省エネの家電製品を購入して使う

##### ＜取組みの内容＞

- ▼ 省エネに優れた製品を使ったり、こうした製品に買い替えたりします。
- ▼ 省エネ性能を製造事業者等がラベルで表示する制度については、対象が年々拡大しています。
- ▼ エアコン、冷蔵庫、テレビ、電子レンジなど 22 品目が表示制度の対象となっています。（平成29年時点）

##### ＜取組みによる変化＞

- ▼ 省エネラベルを目安にすることで、より簡単に環境配慮製品を選択、購入することができます。
- ▼ 省エネ性能が優れている製品を選択することで光熱費を下げることができます。

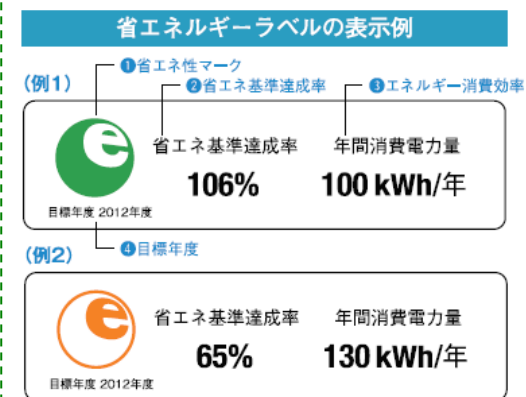
## トピックス ■ 省エネが進む家電製品

### ○省エネラベリング制度

「省エネルギーラベリング制度」が日本工業規格（JIS）によって導入されています。

この制度は、家庭で使用される製品を中心に、省エネ法で定められたトップランナー基準を達成しているかどうかを製造事業者等がラベル（「省エネルギーラベル」）に表示するもので、製品を選ぶ際の省エネ性能の比較等に役立ちます。

省エネルギーラベルは、カタログや製品本体、包装など、見やすいところに表示されます。



### ○小売事業者表示制度

小売業者が製品の省エネ情報を表示するための制度が開始されています。

制度内容は、小売事業者が店頭陳列商品に対し①多段階評価、②省エネルギーラベル、③年間の目安電気料金などの情報が盛り込まれた「統一省エネルギーラベル」で表示するものです。



▲参考 省エネ性能カタログ winter2017(P8-10)

## エコ・ショッピングの工夫

### (4) エコショップ

<緑・生物・景観・産業・都市空間>

#### 環境を考えたお店をひいきにする

##### <取組みの内容>

- ▼ お店ごとに環境配慮の取組みに差があります。環境対策に熱心なお店の自主的な取組みの芽を大きく育てるために、こうしたお店をひいきにします。
- ▼ 品物を購入する際にも、お店に過剰な包装を求めないようにします。

##### <取組みによる変化>

- ▼ お店も商品も、消費者の「選択」によって成り立っています。環境対策に熱心なお店をひいきにすることは、そのお店だけでなく、その活動も支援することです。
- ▼ 支援者が大きく増えれば、その環境対策は大きな流れになります。



## エコ・ショッピングの工夫

### (1) 食料品購入

<音・美化・環境保全活動>

#### 食料品は適量を購入する

##### <取組みの内容>

- ▼ 不必要な商品を「買わされる」のではなく、必要の都度、必要なだけ購入するようにします。
- ▼ ばら売りをしていたり、こちらの希望を聞いてくれたりするお店をひいきにします。

##### <取組みによる変化>

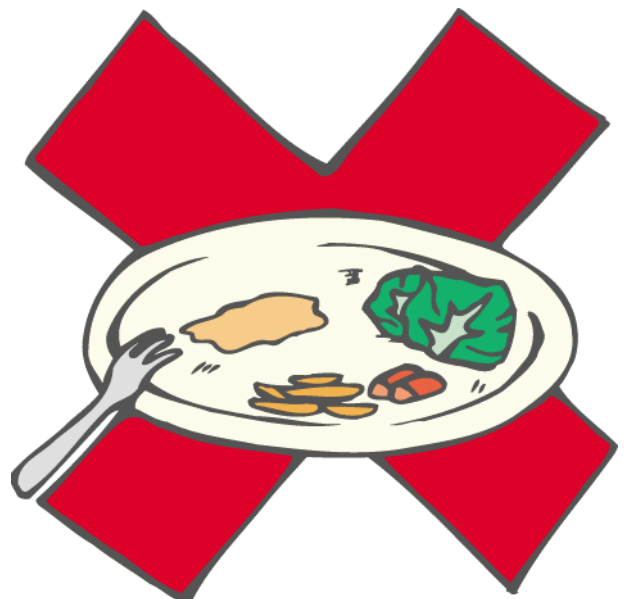
- ▼ 食品ロスの約半分は、家庭から。食品ロスの内訳は、
    - ⇒ 事業系廃棄物由来：約 357 万トン
    - 家庭系廃棄物由来：約 289 万トン
  - ▼ 家庭から出る生ごみのうち、
    - ⇒ 13.6%が「食べ残し」、10.3%が「手つかず食品」です。
    - ⇒ 適量購入でこれらを減らすことができます。
- ▲出典 消費者庁「食品ロス削減関係参考資料(平成 30 年 6 月 21 日版)」

## [3] 習慣化プログラム

### ～もう一歩！ライフ・スタンダードへ～

買い物での環境配慮行動として、「エコ・ショッピングの工夫」を取り上げます。

「習慣化プログラム」では、すでに高いレベルで普及し、かつ個人差の小さな環境配慮行動について、それを暮らしの中に習慣化させ定着させるための対策を行っていきます。





## エコ・ショッピングの工夫

### (2) 衣服購入

<音・美化・環境保全活動>

しっかりした素材で愛着の持てる服を選ぶ

#### <取組みの内容>

- ▼ 定番衣料は、しっかりした素材で飽きが来ず、愛着の持てるデザインのものを選びます。
- ▼ 不要になった服がある場合には、捨てずにリサイクル店やインターネットを通じて、リサイクルを行ったり、寄付したりして有効活用します。

#### <取組みによる変化>

- ▼ 値段は多少高くても、長く着られる服を選ぶことで、こまめに買い替えるより、安くつくかもしれません。
- ▼ 愛着のわいた服を身に着けることで、安らぎや満足感を得ることができます。

## エコ・ショッピングの工夫

### (3) 保証・修理

<音・美化・環境保全活動>

保証があり修理できる耐久品を選ぶ

#### <取組みの内容>

- ▼ 使用年数が長くなる耐久品は、メーカー保証が付くもの、また故障した場合に修理可能なものを選びます。

#### <取組みによる変化>

- ▼ まだ使えるものを廃棄することによる資源の浪費を防ぐことができます。
- ▼ 製品価格より修理代が安い場合は、新品に買い替えるより、出費を低く抑えることができます。





## エコ・ショッピングの工夫

### [4] チャレンジプログラム

#### ～目指せ、「環境マスター」!～

買い物での環境配慮行動として、「エコ・ショッピングの工夫」を取り上げます。

「チャレンジプログラム」は、新たな観点で実践できる環境配慮行動です。

#### (1) 化学物質

<安全>

必要以上に化学物質に依存しない

##### <取組みの内容>

- ▼ 洗剤、塗料、接着剤など、身の回りにはたくさんの化学物質があります。現在の暮らしにおいて、こうした化学物質は不可欠のもののように思われます。
- ▼ 一方、化学物質は、使い方によっては健康被害や公害を引き起こすこともあります。
- ▼ 安易に化学物質に頼らず、必要以上の化学物質は暮らしに取り込まないよう配慮します。
- ▼ そのためには、日ごろから化学物質に関心を持ち、健康や環境により負荷の少ない代替品・代替方法に関する情報を得るようにします。また商品を選択する場合は、その成分に目を向けるようにします。
- ▼ 正しい使用方法や用量に注意すると同時に、保管方法や廃棄方法について、商品に書かれた指示をきちんと守ります。

##### <取組みによる変化>

- ▼ たとえば塗料や接着剤の使用量を減らすことで、VOC(※)を削減することができます。
  - ※ 蒸発しやすい有機化合物(揮発性有機化合物)。トルエンやキシレンといった溶剤など。
- ▼ VOCは、大気汚染や光化学スモッグ、シックハウス症候群(※)の一因と言われています。
  - ※ 新築やリフォームによる化学物質が室内空気汚染を引き起こし、これが原因と考えられる頭痛、だるさ、興奮状態などの健康影響のこと。
  - ※ 参考 環境省パンフレット「塗料・接着剤と化学物質」

## エコ・ショッピングの工夫

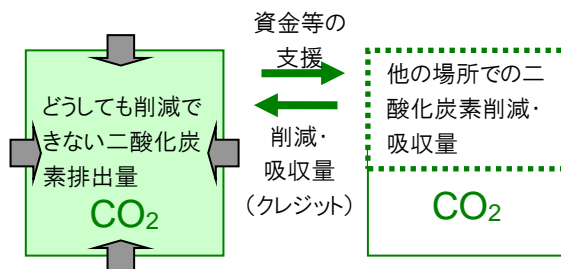
### (2) カーボン・オフセット

<緑・生物・景観・産業・都市空間>

#### カーボン・オフセット商品を購入する

##### <取組みの内容>

- ▼ 努力しても削減しきれない CO<sub>2</sub> などの温室効果ガス排出量を、他の場所での削減量や吸収量で埋め合わせる(相殺する)ことをカーボン・オフセットといいます。商品の売上げの一部を相殺費用に充てる「カーボン・オフセット商品・サービス」が販売されています。



▲参考 カーボン・オフセットフォーラムのホームページ

- ▼ カーボン・オフセット商品は食品、旅行、事務用品など様々な分野に広がりを見せていますが、どのような削減効果があるのかなどを十分に見極めたうえで購入します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 日頃の取組みによる温室効果ガスの排出量削減に加えて、さらに多くの削減に努めることができます。

## 排出抑制(リデュース)の工夫

### 8. 3R への配慮

#### [1] きっかけづくりプログラム

～見て、知って、こつこつはじめる！～

3R での環境配慮行動として、「排出抑制(リデュース)の工夫」を取り上げます。

「きっかけづくりプログラム」では、実践者が少ない環境配慮行動について、多くの人に知ってもらい、試しに参加・実施してもらうためのきっかけを用意します。

### (1) 生ごみ

<資源>

#### 生ごみは堆肥にするか自分で処理する

##### <取組みの内容>

- ▼ まずは生ごみの出ない調理方法や食べ残しをしない工夫をします。
- ▼ それでも出てしまった生ごみは、生ごみ処理機を使って処理するか、発酵させて堆肥にし、家庭菜園などで有効利用します。
- ▼ 大和市では、「生ごみ処理容器等設置費補助金制度」を設け、生ごみ処理容器(コンポストタイプ)、電動式生ごみ処理機(写真が一例)、せん定枝用ガーデンシュレッダーを対象に、購入費の多くを補助しています。



##### <取組みによる変化>

- ▼ 排出される生ごみの一部を有効利用または減量化できます。
- ▼ 可燃ごみの減量により、支払うごみ処理手数料を削減することができます。

## 排出抑制(リデュース)の工夫

### (1) 修理

<資源>

#### 修理サービスを上手に使う

##### <取組みの内容>

- ▼ 耐久品が壊れた場合は、すぐに買い替えをせず、まずは修理ができるかどうか問い合わせをしてみます。有償修理となる場合は見積もりを依頼し、その上で修理可能かどうかを判断します。
- ▼ 日ごろから身近にある修理サービス店をチェックしておくといざという時便利です。

##### <取組みによる変化>

- ▼ まだ使えるものを廃棄しなくて済み、資源の浪費を防ぐことができます。
- ▼ 製品価格より修理代が安い場合は、新品に買い替えるより、出費を低く抑えることができます。

#### トピックス■身近な修理店を探そう！

大型のショッピングセンター等には修理ショップがあります。また、身近にあるスーパーなどに服のリフォームショップが入っている場合もあります。

ふだん良く足を運ぶお店にどんな修理サービスがあるか、チェックしておきましょう。近所の電気店の修理サービスも確認しておく、いざという時役に立ちます。

## [2] 普及・拡大プログラム

### ～「ひとり」から「みんな」へ！～

3Rでの環境配慮行動として、「排出抑制(リデュース)の工夫」、「再使用(リユース)の工夫」を取り上げます。

「普及・拡大プログラム」では、すでに一部に実践の芽が出始めている環境配慮行動について普及拡大の勢をつけるため、その取組みを紹介し、実践しやすい環境を整えていきます。

## 再使用(リユース)の工夫

### (2) リフォーム

<資源>

#### リフォームを上手に使う

##### <取組みの内容>

- ▼ 服など小さなほころびはご家庭で繕います。
- ▼ 用途やサイズの直しはリフォームします。日ごろから身近にあるリフォーム・ショップをチェックしておく、いざという時便利です。

##### <取組みによる変化>

- ▼ ごみ減量と衣類の長持ちに貢献できます。
- ▼ 買い替えるより安価なので、家計にもやさしくなります。

## 再使用(リユース)の工夫

### (3) リサイクルショップ

<資源>

#### リサイクルショップなどを活用する

##### <取組みの内容>

- ▼ リサイクルショップを上手に活用し、家具、子供服、雑貨、楽器、事務用機器などを売却したり購入したりします。
- ▼ 地域で開催されるフリーマーケットやバザーなどに参加し、不要品の売買をします。
- ▼ 大和市の「リサイクル未来館」では家具のリユースを行っており、平成 28 年度は 938 台の家具をリユースしています。



##### <取組みによる変化>

- ▼ ごみ減量と家庭にある様々な物の長寿命化に貢献できます。
- ▼ 売却収入や安価で購入することで、家計にもやさしくなります。

## リサイクルの工夫

### (1) 資源分別

#### <資源>

資源は分別してリサイクルする

#### <取組みの内容>

- ▼ 資源はごみにせず、正しく分別して、市の収集や地域団体の集団回収、小売店店頭での回収に出します。

#### <取組みによる変化>

- ▼ きちんと分別することでごみを減らすことができ、ごみ処理手数料の節約につながります。
- ▼ 大和市のごみと資源の総排出量は、平成 29 年度実績で、67,787トンです。総資源化量は 18,817トンで、総排出量に対する資源化率は 27.8%となっています。
- ▼ 一人ひとりの取組みが、資源化率アップにつながります。

▲出典 大和市「平成 30 年度版 清掃事業の概要」



## [3] 習慣化プログラム

### ～もう一歩！ライフ・スタンダードへ～

3R での環境配慮行動として、「リサイクルの工夫」、「ルール遵守の工夫」の 2 つを取り上げます。

「習慣化プログラム」では、すでに高いレベルで普及し、かつ個人差の小さな環境配慮行動について、それを暮らしの中に習慣化させ定着させるための対策を行っていきます。

## ルール遵守の工夫

### (2) ごみ出し

<資源>

#### ごみ出しルールやマナーを守る

##### <取組みの内容>

- ▼ 分別ルール、ごみ出しの曜日や時間、排出場所など、みんなが気持ちよく暮らすためのさまざまなルールを守ります。
- ▼ 「このくらいは…」 「自分だけなら…」 という小さなルール違反が次の違反を生むことになります。一人ひとりの配慮がとても重要です。



※大和市ごみカレンダーアプリ

##### <取組みによる変化>

- ▼ 地域美化に貢献できます。
- ▼ 資源分別意識を高めることができます。

## ルール遵守の工夫

### (3) 危険・有害ごみ

<資源>

#### 危険ごみ・有害ごみは正しく出す

##### <取組みの内容>

- ▼ 包丁や割れたガラスなど危険なものは新聞などの紙でしっかり覆い、マジックで品名をしっかりと書きます。
- ▼ 乾電池・蛍光灯・水銀体温計などの有害ごみは透明袋に入れて燃えないごみに出します。



##### <取組みによる変化>

- ▼ 有害物質を含むごみがきちんと分別されないと、安全に処分できず、有害物質が環境中に放出される可能性があります。きちんと分別して出すことで、こうした環境負荷を防ぐことができます。
- ▼ ごみ収集や処分を行う作業員の事故の危険性を減らすことができます。



## ルール遵守の工夫

### (4) 事業者による自主回収

#### <資源>

#### 家電製品などは販売店に引き取ってもらう

##### <取組みの内容>

- ▼ 販売店などが引き取ることになっているエアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機(家電リサイクル法による)、パソコンと小型二次電池(資源有効利用促進法による)などは、法律に基づき事業者が自主回収しているため、販売店等に引き取ってもらいます。
- ▼ 携帯電話やデジタルカメラ、電気シェーバーなどの使用済小型家電については、市役所本庁舎や文化創造拠点シリウス、ぷらっと高座渋谷などに設置している回収ボックスに投入します。(小型家電リサイクル法による)

##### <取組みによる変化>

- ▼ 家電リサイクル法に基づき販売店が引き取った家電製品は、リサイクル工場で解体され、再資源化されます。
- ▼ 右のPCリサイクルマークが付いているパソコンは、購入時に回収再資源化料金を支払っているため、メーカーが回収、リサイクルします。



▲出典 一般社団法人パソコン 3R 推進協会ホームページ

## 排出抑制(リデュース)の工夫

### (1) ごみ半減

<資源>

#### 家庭ごみを半減させる

##### <取組みの内容>

- ▼ 家庭から出るさまざまな種類の使用済み製品や廃棄物について、リサイクルシステムが整ってきています。また、不要品のリユースのしくみもできてきています。お店では、簡易包装などごみを生まない取り組みも始まっています。こうした仕組みや取組みを上手に使い、家庭から出るごみの半減に、さらには、まったくごみを出さない「ホーム・ゼロエミッション」にチャレンジします。
- ▼ 家庭に不要物を取り込まないよう、買い物の段階からごみにならないものを選択し、使用や消費の段階では使い切ることを心がけ、不要となったものはリユースやリサイクルします。生ごみを生まない調理方法を工夫し、出た生ごみは堆肥などとして有効利用します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ ごみ処理が不要になります。
- ▼ ごみ処理に起因する地域の環境負荷を限りなく軽減できます。

## [4] チャレンジプログラム

### ～目指せ、「環境マスター」!～

3Rでの環境配慮行動として、「排出抑制(リデュース)の工夫」を取り上げます。

「チャレンジプログラム」は、新たな観点で実践できる環境配慮行動です。

## 緑化の工夫

### 9. 住まいへの配慮

#### [1] 習慣化プログラム

#### ～もう一歩！ライフ・スタンダードへ～

住まいへの配慮として、「緑化の工夫」を取り上げます。

「習慣化プログラム」では、すでに高いレベルで普及し、かつ個人差の小さな環境配慮行動について、それを暮らしの中に習慣化させ定着させるための対策を行っていきます。

#### (1) 植栽

<緑・生物・景観・産業・都市空間>

#### 庭やベランダに植栽する

##### <取組みの内容>

- ▼ 庭木、芝生、草花など、庭やベランダへの植栽をします。
- ▼ 南西面に落葉樹を植えると、夏は葉が日陰を作り、冬は落葉して日差しをさえぎらず暖かな日光を取り込めます。
- ▼ ご自宅のへいを生垣にすることによっても、緑の増加につながります。市より費用の一部の補助または樹木・資材の配布という支援制度があります。

##### <取組みの普及状況>

- ▼ 庭やベランダなどで木や草花などを育てている  
「すでに実施している」…55.9%  
「将来的に実施したい」…13.3%

▲ 出典 平成29年度 市民アンケート調査結果

##### <取組みによる変化>

- ▼ 植栽すると、
  - ・夏季、日射を遮り、室内外の温度を引き下げの役に立ちます。
  - ・落葉樹なら、冬の日射が利用できます。
- ▼ 屋上緑化すると、
  - ・日射による焼け込み、照り返しを防止できます。
  - ・断熱効果によって省エネに貢献します。
  - ・ヒートアイランド現象を緩和できます。
  - ・生き物の生息空間の創出に寄与できます。
  - ・CO<sub>2</sub>の吸収に貢献できます。

## 水を汚さない工夫

### (1) 公共下水道

#### <水・水循環>

#### 公共下水道を適正に利用する

##### <取組みの内容>

- ▼ 公共下水道整備済み地域の場合は、公共下水道に接続して利用します。
- ▼ 天ぷら油やタバコの吸い殻、紙オムツなどを流さない、洗剤を適量使うなど、下水道マナーを守りましょう。

##### <取組みの普及状況>

- ▼ 面積による下水道(汚水)普及率： 71.5%
- ▼ 人口による下水道(汚水)普及率： 95.2%
- ▲ 出典 大和市下水道統計(平成29年度末実績)

##### <取組みによる変化>

- ▼ 公共下水道を適正に利用することで、各世帯で排水処理施設を維持管理する手間をかけず、すべてのし尿と生活雑排水を処理できます。

## [2] 環境関連機器普及プログラム

### ～「エコ」で住みやすさアップ～

住まいでの環境配慮行動として、「水を汚さない工夫」、「水利用の工夫」、「エコ住宅の工夫」の3つを取り上げます。

「環境関連機器普及プログラム」では、現在すでに実用化されている環境配慮型の各種機器を広く使ってもらうための対策を行っていきます。

### 水を汚さない工夫

## (2) 合併処理浄化槽 <水・水循環>

### 合併処理浄化槽を設置する

#### <取組みの内容>

- ▼ 公共下水道が未整備の地域の場合は、排出されるし尿と生活雑排水(風呂や台所など、し尿以外の生活排水)を一括して処理できる合併処理浄化槽を設置します。
- ▼ 単独処理浄化槽を利用している場合は、し尿のみが処理され、生活雑排水は垂れ流しとなるため、合併処理浄化槽に切り替えます。
- ▼ 市街化調整区域にある汲み取り式便槽や単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に変更するときは、条件によって市の補助金の交付対象となります。

#### <取組みによる変化>

- ▼ 合併処理浄化槽では、し尿だけでなく生活雑排水も処理できるため、家庭の全排水が浄化され、放流水の水質を基準値以下に抑えることができます。これによって、河川や海洋の汚染防止につながります。

### 水を汚さない工夫

## (3) 浄化槽の保守・点検 <水・水循環>

### 定期的に浄化槽を清掃・点検する

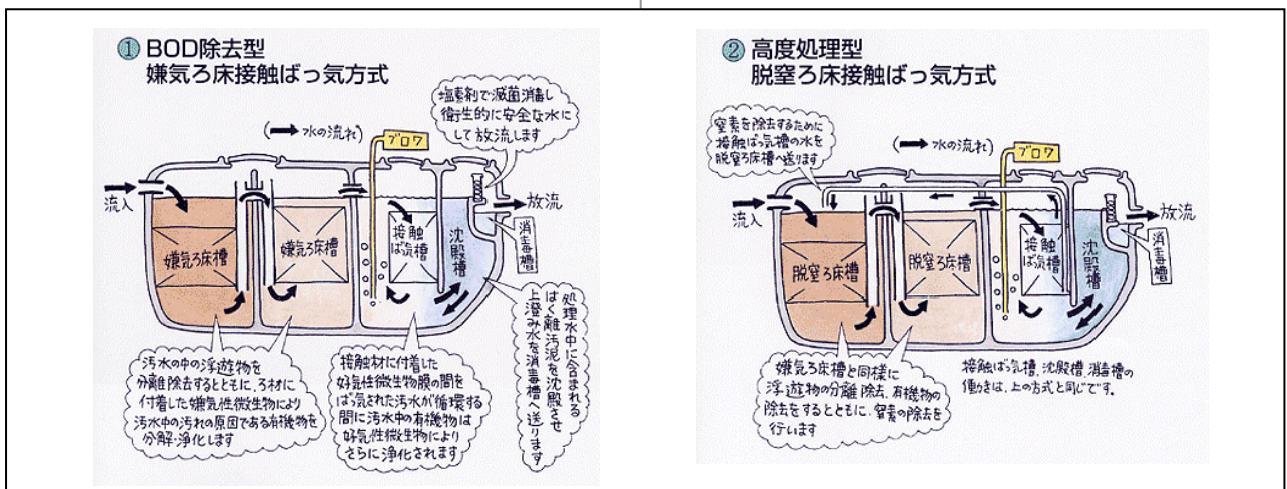
#### <取組みの内容>

- ▼ 浄化槽は微生物の働きによって汚水を浄化する設備であり、その性能低下を防ぎ浄化能力を一定に保つために、定期的な保守・点検を行います。

**〈浄化槽の清掃等〉**  
 浄化槽は、清掃と保守点検、定期検査が必要です。  
 ・槽の中に汚泥が溜まると浄化能力が低下しますので、年に1〜2回の清掃が必要です。清掃は、市の許可業者にお申し込みください。  
 ・保守点検や定期検査については、厚木保健福祉事務所大和センターにお問い合わせください。

#### <取組みによる変化>

- ▼ 排水中の水質汚濁物質を基準値以下に抑えることができ、河川や海洋の汚染防止につながります。



▲出典 環境省合併処理浄化槽パンフレット

## 水利用の工夫

### (4) 雨水を上手に使う

<水・水循環>

#### 雨水をためて活用する

##### <取組みの内容>

- ▼ 容量が 200 リットル程度の雨水タンクを設置し、洗車、植木の水やりなどに有効利用します。
- ▼ 夏季の打ち水、防火用水としても利用します。
- ▼ 市では、宅地内への雨水貯留槽の設置に対しその費用の一部を助成しています。

##### <取組みの普及状況>

- ▼ 雨水貯留槽の設置について、
  - ・「すでに設置している」…2.3%
  - ・「将来的に設置したい」…27.2%

▲出典 平成 29 年度市民アンケート調査

##### <取組みによる変化>

- ▼ トイレの洗浄水、庭木への散水、洗車用水などに利用することで、水道料金の節約につながります。
- ▼ 散水によって、ヒートアイランド軽減に寄与できます。

#### 雨水浸透ますを設置する

##### <取組みの内容>

- ▼ 雨水を地下にしみこませる雨水浸透ますを設置します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 地下水等の水環境の保全・回復につながります。
- ▼ 雨水を積極的に地下に浸透させることにより、豪雨時に下水の逆流を招く、いわゆる「都市型洪水」対策としての機能が期待できます。

## エコ住宅の工夫

### (5) 断熱

<地球環境・エネルギー>

#### 高断熱・高気密化する

##### <取組みの内容>

- ▼ 住まいを高断熱・高気密化することで、熱の出入りを防ぎ、冷暖房効果を高めることができます。
- ▼ 近年、精度の高い建築部材や防湿シート、断熱材などを使い、壁や天井などに隙間をできるだけ作らない住宅が増えています。
- ▼ 窓は断熱性能が低く熱が逃げやすいため、複層ガラスへの交換が効果的です。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 住まいの高断熱、高気密化により、冷暖房費の軽減につながります。
- ▼ 高断熱高気密住宅にすると、
  - ・部屋の中の温度や温度の差が少なくなります。
  - ・部屋ごとの温度差が少なくなります。
  - ・冷暖房設備がよく効き、省エネに役立ちます。



## エコ住宅の工夫

### (6) 太陽光発電

<地球環境・エネルギー>

#### 太陽光発電機器を設置する

##### <取組みの内容>

- ▼ 屋根などに太陽光発電パネルを設置し自家発電します。太陽光を直接電気に変えるため、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)や窒素酸化物(NOx)等のガス、振動や騒音が発生しません。
- ▼ 4人家族の家庭で消費する電力量はおおよそ年間4,800kWh。4kW～5kW程度の太陽光発電システムを設置すれば、年間の売電量と買電量が等しくなり、4人家族の電力消費量を太陽光発電によりほぼ賅うことができます。

##### <取組みの普及状況>

- ▼ 太陽光発電システムの設置について、
    - ・「すでに設置している」…4.5%
    - ・「将来的に設置したい」…33.4%
- ▲出典 平成29年度 市民アンケート調査結果

##### <取組みによる変化>

- ▼ 太陽光発電機器を設置することにより、買電量が減少し、電気代の節約になります。
- ▼ 太陽光発電機器を設置すると、火力発電所などでの発電量を減らすことになり、この結果、温室効果ガスの削減につながります。

## エコ住宅の工夫

### (7) 太陽熱利用

<地球環境・エネルギー>

#### 太陽熱利用機器を設置する

##### <取組みの内容>

- ▼ 太陽熱を利用する機器を設置します。
- ▼ 太陽熱利用機器には、太陽熱で直接温水を作る太陽熱温水器のほか、集熱ポンプの働きで温水を作るソーラーシステムがあります。

##### <取組みの普及状況>

- ▼ 太陽熱利用システムの設置について、
    - ・「すでに設置している」…2.3%
    - ・「将来的に設置したい」…28.5%
- ▲出典 平成29年度 市民アンケート調査結果

##### <取組みによる変化>

- ▼ 太陽熱利用システム(集熱面積:6.0m<sup>2</sup>)を設置すると、原油換算で、
    - ⇒ 年間340リットル(ドラム缶約1.7本分)の節約
- ▲出典 一般社団法人ソーラーシステム振興協会ホームページ

### トピックス■大和市の省エネルギー機器設置費補助事業

大和市では、住宅用太陽光発電システム等(太陽光発電システム、HEMS、リチウムイオン蓄電池)、住宅用太陽熱利用システム、家庭用燃料電池システム(エネファーム)を設置する方(大和市内のお住まいへ設置、設置予定の方)へ設置費の補助を実施しています。補助件数などについては、年度によって異なりますので、ホームページを確認したうえで申請してください。



## エコ住宅の工夫

### (8) エコ・リフォーム

<地球環境・エネルギー>

#### 環境に配慮した住宅リフォームをする

##### <取組みの内容>

- ▼ 住宅リフォームを行う場合に、次のような環境配慮の視点を取り入れます。
  - ・ 合板ではなく無垢材(化学物質の低減)
  - ・ 塩ビ系ではなく漆喰など天然素材系壁材(〃)
  - ・ 石油系ではなく天然素材系塗料(〃)
  - ・ 高断熱・高气密化
  - ・ 太陽光発電や太陽熱利用、あるいは家庭用燃料電池の導入
  - ・ 日射や通風を考えた設計
  - ・ カーテンなど家具・調度品の工夫、など

##### <取組みによる変化>

- ▼ 安心・安全で快適な空間を確保することができます。
- ▼ 天然素材は年月とともに変化するため、愛着がわきやすくなります。
- ▼ 地球温暖化対策にもなるため、地球環境に優しい住まいとなります。

## エコ住宅の工夫

### (9) 燃料電池

<地球環境・エネルギー>

#### 家庭用燃料電池を導入する

##### <取組みの内容>

- ▼ 燃料電池は、水素を燃料として大気中の酸素と反応させることで、直接電気を発生させる装置です。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 家庭用燃料電池(通称:エネファーム)を設置することで、自宅で発電ができ、またその時に発生する熱も有効利用してお湯が作り出せます。
- ▼ 大規模発電所で作られる電気は、家庭に運ばれるまでに送電ロスがありますが、家庭用燃料電池では電気を作る場所と使う場所が一緒であるため、エネルギーを有効に利用できます。



▲出典 東京ガス(設置はイメージです)

## エコ住宅の工夫

### (1) ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)

<地球環境・エネルギー>

#### 住宅をZEHにする

##### <取組みの内容>

- ▼ 住宅を新築・改築する場合に、次のような設備をすべて取り入れたZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)にします。
  - ・ 高断熱の壁や窓を使います。
  - ・ 高性能設備やHEMS(エネルギー管理システム)を導入し、エネルギーを上手に使います。
  - ・ 太陽光発電機器などを活用し、エネルギーを創ります。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 年間で消費する住宅の一次エネルギー消費量がおおむねゼロになります。
  - ※一次エネルギーとは、化石燃料や水力・太陽光など自然から得られるエネルギーのこと。
- ▼ 地球温暖化対策にもなるため、地球環境に優しい住まいとなります。
  - ※ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)については、環境配慮指針(事業所編 P78)を参照。

## [3] チャレンジプログラム

### ～目指せ、「環境マスター」!～

住まいでの環境配慮行動として、「エコ住宅の工夫」を取り上げます。

「チャレンジプログラム」は、新たな観点で実践できる環境配慮行動となります。

## 住環境への配慮

### 10. 周辺への配慮

#### [1] 普及・拡大プログラム

#### ～「ひとり」から「みんな」へ！～

周辺への配慮行動として、「住環境への配慮」と「環境学習」の2つを取り上げます。

「普及・拡大プログラム」では、すでに一部に実践の芽が出始めている環境配慮行動について普及拡大の勢いをつけるため、その取組みを紹介し、実践しやすい環境を整えていきます。

#### (1) 美化

<音・美化・環境保全活動>

#### 環境美化活動へ積極的に参加する

##### <取組みの内容>

- ▼ 「清掃の日」などの環境美化活動へ参加します。
- ▼ 環境サポーターや環境事業推進員を引き受けるなど、地域の環境美化の促進に努めます。
- ▼ 地域美化に関して家庭や地域で話し合います。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 地域の環境美化の促進につながります。

## 環境学習

### (2) 環境学習

<音・美化・環境保全活動>

#### 環境問題について学習する

##### <取組みの内容>

- ▼ 環境講座、シンポジウムなどに参加し、環境問題について学習します。
- ▼ 環境情報の収集に努めます。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 地域のみならず、市全体の環境の向上にもつながります。



※ 市民環境調査「セミのぬけがら鑑定士講習会」の様子



※ 環境フェア2018の様子

# トピックス ■ かんきょうノートにチャレンジ

環境配慮の取り組みをいくら実践しても、その効果が実感できなければ、長続きしません。

大和市では、市立小中学校で「かんきょうノート」に取り組んでいます。環境配慮行動を「見える」ようにするツールです。ここでは、「平成30年度 大和市かんきょうノート(中学生版)」の一部を紹介します。大和市ホームページからダウンロードすることができます。家庭でも取り組める内容ですので、ぜひご活用ください。

## ▲平成30年度版大和市「かんきょうノート」(中学生版)

H30 年度版

異常気象や熱中症で困らない社会にしていけるのは私たち！

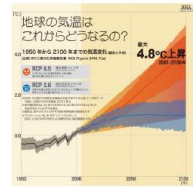
**チャレンジ!! 大和市「かんきょうノート」**



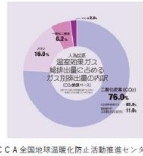
■二酸化炭素、メタン、さらにはフロン類などの温室効果ガスが排出されて大気中の濃度が高まり、熱の吸収が増えた結果、気温が上昇始めています。これが**地球温暖化**です。温室効果ガスの排出を今まで以上に削減しないと、地球温暖化はいつまでも続くと思われています。



■世界の気温は、この100年で、約**0.85°C**上昇しており、予測では、**2100年**までに**最大4.8°C**上昇するといわれています。



■地球温暖化の原因となっている温室効果ガスのうち、もっとも影響が大きいものは**CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)**です。地球温暖化により、**異常気象や健康への影響**が懸念されています。



### ※CO<sub>2</sub>をどれだけ減らせばいいの？

2015年にパリ協定が採択されました。世界の平均気温上昇を産業革命から2°C未満にすることを目標にしています。日本は、2050年までに温室効果ガスを80%減らすことを目標にしています。

◆かんきょうノートにチャレンジし、自分たちの未来を守ろう！

私たちのくらしは、私たちが思っているより、大きな負担を環境に与えています。したがって、**毎日の生活の中で、環境に配慮した行動が必要**です。かんきょうノートは、**日々の行動を変えることでCO<sub>2</sub>がどれだけ減らせるかをチェック**するものです。

## 大和市かんきょうノート (平成30年版)

### かんきょうノートの取り組み方

- ① 今までをチェック。 初めに「今まで」の自分の取り組みがどれくらい出来ているか、3つ(よく出来た・出来た・出来ていない)の中から選びましょう。
- ② 実際に取り組んでみよう。 A⇒B⇒Cと難易度が上がっています。がんばって週間チャレンジしましょう。
- ③ チャレンジ結果の記入と集計。 取り組みが終わったら、「チャレンジ結果」の欄に○をします。「チャレンジ結果」の数字の合計を計算し、「集計欄」に記入してください。

記入例 このように、チェックして、集計します。

| 項目番号 | 項目                   | 今まで (ゆめにチェックします) |     |        | チャレンジ結果 (達成時に記入します) |     |        | CO <sub>2</sub> 削減量 (kg/年) |
|------|----------------------|------------------|-----|--------|---------------------|-----|--------|----------------------------|
|      |                      | 出来た              | 出来た | 出来ていない | 出来た                 | 出来た | 出来ていない |                            |
| 1    | 蛇口やシャワーを流しっぱなしにしない。  | ○                | ○   | ○      | ○                   | ○   | ○      | 38                         |
| 2    | 毎日の食事や給食などの食べ残しをしない。 | ○                | ○   | ○      | ○                   | ○   | ○      | 8                          |
| 3    | 使い捨てのものをなるべく使わない。    | ○                | ○   | ○      | ○                   | ○   | ○      | 11                         |
| 4    | 使っていない照明は消す。         | ○                | ○   | ○      | ○                   | ○   | ○      | 12                         |

### A, Bは、すべての項目にチャレンジしてください！

| 項目番号         | 項目                   | 今まで (ゆめにチェックします) |     |        | チャレンジ結果 (達成時に記入します) |     |        | CO <sub>2</sub> 削減量 (kg/年) |
|--------------|----------------------|------------------|-----|--------|---------------------|-----|--------|----------------------------|
|              |                      | 出来た              | 出来た | 出来ていない | 出来た                 | 出来た | 出来ていない |                            |
| 1            | 蛇口やシャワーを流しっぱなしにしない。  |                  |     |        | ○                   | ○   | ○      | 38                         |
| 2            | 毎日の食事や給食などの食べ残しをしない。 |                  |     |        | ○                   | ○   | ○      | 8                          |
| 3            | 使い捨てのものをなるべく使わない。    |                  |     |        | ○                   | ○   | ○      | 11                         |
| 4            | 使っていない照明は消す。         |                  |     |        | ○                   | ○   | ○      | 12                         |
| 合計①          |                      |                  |     |        |                     |     |        |                            |
| 右側の集計欄(①)に記入 |                      |                  |     |        |                     |     |        |                            |

チャレンジ結果のポイントを合計してみよう

私のチャレンジは、何本の木が一年に吸収するCO<sub>2</sub>と同じかな？

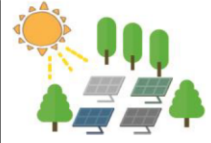
### Cは、難しい内容です！今出来なくても、今後頑張ろう！

| 項目番号        | 項目                           | 今まで (ゆめにチェックします) |     |        | チャレンジ結果 (達成時に記入します) |     |        | CO <sub>2</sub> 削減量 (kg/年) |
|-------------|------------------------------|------------------|-----|--------|---------------------|-----|--------|----------------------------|
|             |                              | 出来た              | 出来た | 出来ていない | 出来た                 | 出来た | 出来ていない |                            |
| 1           | すだれや緑のカーテンで部屋に日差しが入るのを防ぐ。    |                  |     |        | ○                   | ○   | ○      | 69                         |
| 2           | 白熱電球をLED電球に変える。              |                  |     |        | ○                   | ○   | ○      | 293                        |
| 3           | ハイブリットカーなどの省エネルギー型の自動車を利用する。 |                  |     |        | ○                   | ○   | ○      | 654                        |
| 4           | 直売所や朝市を利用し地元の産品を購入する。        |                  |     |        | ○                   | ○   | ○      | 18                         |
| 合計②         |                              |                  |     |        |                     |     |        |                            |
| 下の集計欄(②)に記入 |                              |                  |     |        |                     |     |        |                            |

チャレンジ結果のポイントを合計してみよう

### 夏休み期間に挑戦してみよう！

| 項目番号 | 項目                           | やった | いやな |
|------|------------------------------|-----|-----|
| 1    | 太陽光発電など再生可能エネルギーを活用したものを探そう。 |     |     |
| 2    | 電気自動車などの次世代自動車について調べてみよう。    |     |     |
| 3    | 環境に関する講座やイベントなどに参加しよう。       |     |     |



### 集計欄 チャレンジの成果を計算してみよう！

★一年間に減らせるCO<sub>2</sub>の量の合計は？

合計① \_\_\_\_\_ kg/年 + 合計② \_\_\_\_\_ kg/年 = 合計③ \_\_\_\_\_ kg/年

★一本あたり年に335kgのCO<sub>2</sub>を吸収する木(直径約50cmの木)の本数は？

合計③ \_\_\_\_\_ kg/年 ÷ 335 = \_\_\_\_\_ 本 ……④ ※小数第2位を四捨五入しよう

★今回の取り組みを1年間続けると…

直径50cmの木 \_\_\_\_\_ 本が一年間に吸収するCO<sub>2</sub>量と同じ量のCO<sub>2</sub>を削減したことになります！

【削減できた木を塗りつぶそう！】



### 感想・コメント欄

○取り組んだ感想や意見

○家族のコメント

## 住環境への配慮

### [2] レベルアッププログラム

#### ～トップランナーを追いかけろ！～

周辺への環境配慮行動として、「住環境への配慮」と「生物多様性への配慮」を取り上げます。

「レベルアッププログラム」では、すでに普及している環境配慮行動について、高いレベルの取組みに照準をあわせて、底上げのための対策を行っていきます。

#### (1) 騒音防止

<音・美化・環境保全活動>

##### 付近に迷惑になるような音を出さない

###### <取組みの内容>

- ▼ 付近の迷惑になる音を出さないよう心がけます。

###### <取組みによる変化>

- ▼ 迷惑となるような音を近隣の方と協調して出さないことにより、快適な住環境につながります。

#### (2) 美化

<音・美化・環境保全活動>

##### 自宅周辺の清掃に努める

###### <取組みの内容>

- ▼ 自宅敷地だけでなく、周辺の清掃に努めます。
- ▼ きれいな公園等の維持に努めます。

###### <取組みによる変化>

- ▼ 快適な地域環境につながります。

##### ポイ捨て防止に努める

###### <取組みの内容>

- ▼ 不法投棄の防止のため所有地の清掃に努めます。
- ▼ ポイ捨て防止に努めます。
- ▼ 散歩中の犬のふんは必ず持ち帰ります。

###### <取組みによる変化>

- ▼ 快適な地域環境につながります。



## 生物多様性への配慮

### (3) 生物多様性

<緑・生物・景観・産業・都市空間>

#### その土地にいなかった動植物を移入しない

##### <取組みの内容>

- ▼ 愛護や鑑賞目的の動植物を野生化させたり、その土地にいなかった動植物を移入したりすることのないようにします。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 在来生態系が守られ、地域環境の維持につながります。

#### 生息・生育場所を荒らさない

##### <取組みの内容>

- ▼ 自然の動植物をむやみに採集しないようにします。
- ▼ 河川に釣り糸や釣り針を放置したり、自然分解できないプラスチックごみを捨てたりするなど、動植物の生息・生育を阻害する行為はしないようにします。特に、微細なマイクロプラスチックごみは、それを食べる生物への影響だけでなく、人体への健康被害等も懸念されています。
- ▼ 動植物情報をもとに生息・生育場所を荒らさないようにします。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 在来生態系が守られ、地域環境の維持につながります。
- ▼ 地域の環境美化の促進につながります。



# III. 環境配慮指針 〈事業所編〉

## 1. 環境配慮行動の分析

過去に実施した事業所アンケート調査結果を参考にして、それぞれの環境配慮行動について「どの程度実践されているか」、「実践状況に事業所間の差があるか」という2つの点で分析しました。

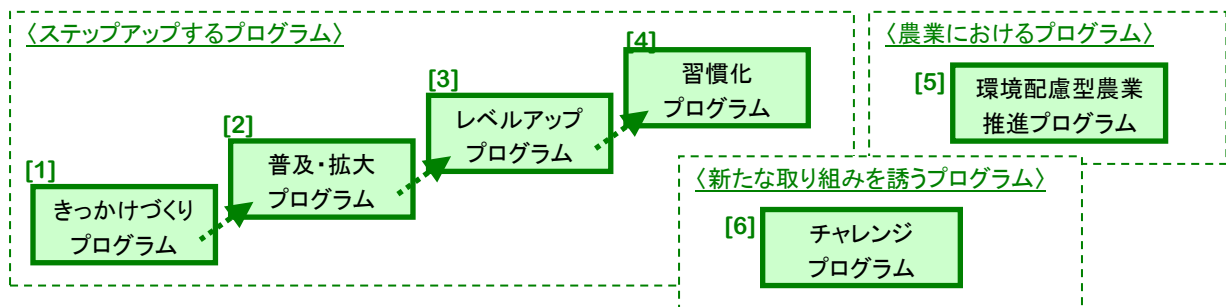
## 2. 本指針の目標

本指針が目標とする状態は、より多くの事業所が、より多くの環境配慮行動を実践することです。

## 3. 6つのプログラム

本指針では、様々な環境配慮行動について分析した上で、実践の度合いや事業者間の差が類似する環境配慮行動を「プログラム」としてまとめて、事業所に対する普及・拡大を働きかけていくこととします。具体的には、次の6つのプログラムに分類しています。

### ▼ 6つのプログラム



### [1] きっかけづくりプログラム

ごく限られた事業所にしか実践が見られず事業所間の差が大きく、しかも実践の度合いが低い取組みです。ここでは「知ってもらうこと」を重視し、その上で、参加や実践しやすい「きっかけ」を提供します。

#### 〈市の役割〉

- 広報等を活用した積極的な PR、情報提供
- イベントなどでの直接的な働きかけ
- きっかけとなる場やしくみの整備など

#### 〈事業所への期待〉

- テレビなどのマスコミ、市の広報による環境特集の視聴
- できるところからの実践など

## [2] 普及・拡大プログラム

実践の度合いは低いものの、実践している事業所が比較的多く見られ、広がり始めてきている環境配慮行動です。ここでは、「より多くの事業所に実践してもらうこと」を重視し、環境配慮行動が面的に広がるよう、対策を行います。

### 〈市の役割〉

- 実践事例の PR、情報提供
- 広がり期待できる業種や業界、地域などに対する実践の働きかけなど

### 〈事業所への期待〉

- 事業所内での実践の徹底
- 業種や業界、地域などでの実践していない者に対する「声かけ」など

## [3] レベルアッププログラム

多くの事業所が実践し広く普及しているものの、一生懸命に実践する事業所とそうでない事業所との差が大きい取組みです。すなわち、ここでは、「実践するレベルを引き上げること」を重視し、高いレベルで取り組む事業所を目標に、底上げのための対策を行います。

### 〈市の役割〉

- 実践事例の PR、情報提供。特にレベルの高い事例の積極的な紹介
- 実践者同士が情報や意見を共有できる工夫
- すでに実践している取組みに関する改善ポイントの紹介など

### 〈事業所への期待〉

- より実践しやすい工夫や、より大きな効果が得られた工夫についての情報発信
- すでに実践している取組みの改善

## [4] 習慣化プログラム

すでに多くの事業所に実践が見られ広く普及しており、しかも実践レベルが高く、かつ事業所間の差も小さな環境配慮行動です。ここでは、環境配慮行動を「維持」し、さらに「習慣化」することを重視し、新たな環境配慮型ビジネススタイルとして定着させるための対策を行います。

### 〈市の役割〉

- 温室効果ガス排出状況など取組みの成果が実感できる情報の積極的な提供
- 業種や業界、地域などを巻き込んだ、普段の事業活動への定着のための工夫など

### 〈事業所への期待〉

- ブームやはやりなど一過性の取組みに終わらせずに定着させるための工夫
- 取組みの成果を考えた上での環境配慮行動の実践

## [5] 環境配慮型農業推進プログラム

農業は自然環境を場とする生産活動です。新たな農業のあり方として環境配慮型農業を模索し、大和市に定着させることをねらいとします。持続的な農業によって自然環境を保全することとあわせ、新たな都市緑地などの創造を図ります。

### 〈市の役割〉

- 関連部局と連携し、環境配慮型農業の姿を検討
- 環境配慮型農業の考え方を共有し、農家と協働して展開できるよう働きかけなど

### 〈事業所への期待〉

- 農業において可能な環境配慮の実践とその内容の発信
- 市民が農業と触れ合える場の提供など

## [6] チャレンジプログラム

今後の広がりが期待される新たな環境配慮行動や、チャレンジすべき環境配慮行動です。仕組みがまだ十分に整備されていない、技術が実用化レベルに至っていないなど、成果が見えにくかったりしているものも多いですが、最新情報の入手に努めるとともに、できる部分では実践してみることを働きかけます。

### 〈市の役割〉

- 広報等を活用した積極的な PR、情報提供。特に、新たな取組みを知ってもらうためのきっかけとなる機会や場の提供
- イベントなどでの直接的な働きかけ
- 実践者の意見や感想といった「生の声」の提供など

### 〈事業所への期待〉

- テレビなどマスコミ、市の広報による関連情報への主体的な接触など

## 4. 環境配慮行動とプログラムの関係

環境配慮行動は、次のようにプログラムに分類しています。

|                     | きっかけづくりプログラム           | 普及・拡大プログラム | レベルアッププログラム | 習慣化プログラム | 環境配慮型農業推進プログラム | チャレンジプログラム |
|---------------------|------------------------|------------|-------------|----------|----------------|------------|
| 毎日の事業活動での配慮         | 〈省エネルギーの工夫〉            |            |             |          |                |            |
|                     | ■ 省エネ型オフィス機器を導入する      | ●          |             |          |                |            |
|                     | ■ 夏は28℃、冬は20℃に         |            |             | ●        |                |            |
|                     | ■ 冷暖房は必要なときだけつける       |            |             |          | ●              |            |
|                     | ■ 照明をつける時間を短くする        |            |             |          | ●              |            |
|                     | 〈3Rの工夫〉                |            |             |          |                |            |
|                     | ■ ペーパーレス化を進める          |            | ●           |          |                |            |
|                     | ■ 封筒等の再使用を進める          |            | ●           |          |                |            |
|                     | ■ エコマーク付きや省エネ機器を選択する   |            | ●           |          |                |            |
|                     | ■ 紙の使用量を減らす            |            |             | ●        |                |            |
|                     | ■ 使い捨て製品の購入・使用を抑制する    |            |             | ●        |                |            |
|                     | ■ リサイクルを徹底する           |            |             | ●        |                |            |
|                     | ■ 資源の分別を徹底する           |            |             |          | ●              |            |
|                     | ■ 事務機器などを修理・修繕して使う     |            |             |          | ●              |            |
|                     | ■ プラスチック製容器包装材を減らす     |            |             |          |                | ●          |
|                     | 〈自動車利用の工夫〉             |            |             |          |                |            |
| ■ 次世代自動車を購入する       | ●                      |            |             |          |                |            |
| ■ マイカー通勤の自粛を呼びかける   |                        | ●          |             |          |                |            |
| ■ 大型輸送・配送車は生活道路を避ける |                        | ●          |             |          |                |            |
| ■ エコドライブを心がける       |                        |            | ●           |          |                |            |
| ■ 迷惑駐車をしない          |                        |            |             | ●        |                |            |
| 〈低炭素社会に向けた取り組み〉     |                        |            |             |          |                |            |
| ■ 環境負荷を考えて交通手段を選ぶ   |                        |            |             |          | ●              |            |
| ■ カーボン・オフセット商品を購入する |                        |            |             |          | ●              |            |
| 建築・管理での配慮           | 〈省エネルギーの工夫〉            |            |             |          |                |            |
|                     | ■ エネルギー損失をチェックする       | ●          |             |          |                |            |
|                     | ■ 排熱回収や電力負荷の平準化を行う     | ●          |             |          |                |            |
|                     | ■ 燃料電池やコージェネレーションを導入する | ●          |             |          |                |            |
|                     | ■ エネルギー効率を向上させる        |            |             |          | ●              |            |
|                     | 〈周辺環境への配慮〉             |            |             |          |                |            |
|                     | ■ 公害の防止に努める            |            | ●           |          |                |            |
| ■ 事業所周辺の清掃に努める      |                        |            | ●           |          |                |            |
| ■ 屋上緑化や壁面緑化を進める     |                        |            | ●           |          |                |            |
| 〈再生可能エネルギー利用の工夫〉    |                        |            |             |          |                |            |
| ■ 太陽光発電機器を導入する      | ●                      |            |             |          |                |            |
| ■ 太陽熱利用機器を導入する      | ●                      |            |             |          |                |            |
| 農業における配慮            | 〈大気汚染防止の工夫〉            |            |             |          |                |            |
|                     | ■ 野焼きをしない              |            |             |          | ●              |            |
|                     | 〈化学物質使用への配慮〉           |            |             |          |                |            |
|                     | ■ 農薬はなるべく使わない          |            |             |          | ●              |            |
|                     | ■ 有機農業を進める             |            |             |          | ●              |            |
|                     | 〈生物への配慮〉               |            |             |          |                |            |
| ■ 生物のすみかを確保する       |                        |            |             | ●        |                |            |
| 〈持続的農業への配慮〉         |                        |            |             |          |                |            |
| ■ 農業を続ける            |                        |            |             |          | ●              |            |

## 省エネルギーの工夫

### (1) 省エネ機器

<地球環境・エネルギー>

#### 省エネ型オフィス機器を導入する

## 5. 毎日の事業活動での配慮

### [1] きっかけづくりプログラム

～見て、知って、こつこつはじめる！～

毎日の事業活動でできる環境配慮行動として、「省エネルギーの工夫」と「自動車利用の工夫」の2つを取り上げます。

「きっかけづくりプログラム」では、実践者が少ない環境配慮行動について、多くの事業者に知ってもらい、試しに参加・実施してもらうためのきっかけを用意します。

#### <取組みの内容>

- ▼ コンピューター、ディスプレイ、プリンタ等周辺機器、コピー機、ファクシミリ、スキャナ、複合機など、省エネルギータイプの機器を選定・導入します。
- ▼ たとえば、右の国際エネルギースタープログラム(※)のロゴは、製品の稼働、スリープ、オフ時などの消費電力基準を満たす製品に付けられています。



▲出典 国際エネルギースタープログラムホームページ



▲ ノートパソコンに付けられているエネルギースターのロゴ

#### <取組みによる変化>

- ▼ 電気消費量を削減でき、CO<sub>2</sub>などの排出量の削減につながるほか、電気料金も節約できます。

## 自動車利用の工夫

### (2) 次世代自動車

<地球環境・エネルギー・空気>

#### 次世代自動車を購入する

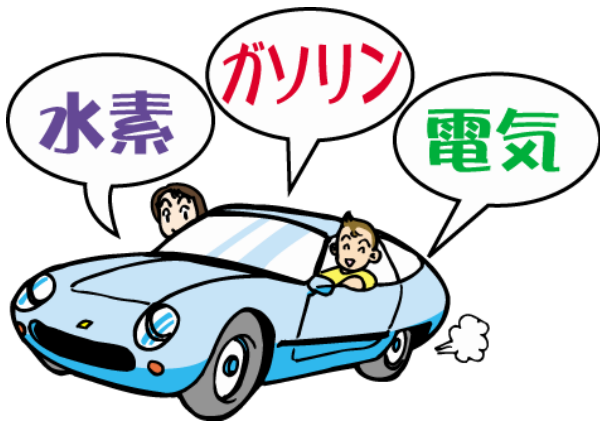
##### <取組みの内容>

- ▼ 燃費がよく、また排出ガスがクリーンな次世代自動車を購入します。

※環境配慮指針(市民編 P28～29)を参照。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 年々強化される排出ガス規制に適合した自動車に切り替えることで、大気汚染物質の排出量を低減できます。
- ▼ 燃費のよい自動車に切り替えることで、燃料消費量を減らし、燃料代を節減できます。



## トピックス ■ 燃料電池自動車の普及促進

### ○国による水素利用の促進の動き

国は、平成 26 年に閣議決定した第 4 次エネルギー基本計画において、「将来の二次エネルギーでは、電気、熱に加え、水素が中心的役割を担うことが期待される」として、水素を本格的に利活用するための取組みを促進する考えを示しました。

▲参考 経済産業省「第 4 次エネルギー基本計画」

### ○神奈川県による目標や取組み

神奈川県では、国のこうした動きを踏まえ、燃料電池自動車や水素ステーションの普及について目標を掲げるとともに、補助制度を設けて普及・促進を図っています。



※神奈川県が公用車として導入した燃料電池自動車

▲参考 神奈川県水素社会ロードマップ

## 3R の工夫

### (1) リデュース（排出抑制）

<資源>

#### ペーパーレス化を進める

##### <取組みの内容>

- ▼ 事業所内連絡でのメールの活用などによって、ペーパーレス化を進めます。
- ▼ すぐに廃棄されるものは共有するなど会議資料の簡素化を進めたり、パソコンやプロジェクターを利用したりするなど、印刷物によらない会議を工夫します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 用紙使用量が削減でき、それに伴い用紙代が削減できます。
- ▼ プロジェクターを活用することで、参加者の視線が上に向き、効率的な会議進行ができます。



## [2] 普及・拡大プログラム

### ～「ひとり」から「みんな」へ！～

毎日の事業活動のできる環境配慮行動として、「3R の工夫」、「自動車利用の工夫」の2つを取り上げます。

「普及・拡大プログラム」では、すでに一部に実践の芽が出始めている環境配慮行動について普及拡大の勢いをつけるため、その取組みを紹介し、実践しやすい環境を整えていきます。



## 3R の工夫

### (2) リユース（再使用）

<資源>

#### 封筒等の再使用を進める

##### <取組みの内容>

- ▼ 事業所内便や文書の仮保管用などに使用済み封筒を再使用します。
- ▼ ファイル、フォルダー等も再利用します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 新たな封筒やファイル、フォルダー等の消費量を減らすことができ、環境にやさしい取組みとなります。



## 3R の工夫

### (3) グリーン調達

<地球環境・エネルギー・資源>

#### エコマーク付きや省エネ機器を選択する

##### <取組みの内容>

- ▼ 事務所で使う日用品や事務用品は、エコマーク付きや省エネタイプのを率先購入するグリーン調達・グリーン購入を推進します。



▲ エコマーク付きレバーファイル

##### <取組みによる変化>

- ▼ エコマークや省エネマークを目安にすることで、より容易に環境配慮製品を選択・購入することができます。
- ▼ 省エネ性能が優れている製品を選択することで、従業員の環境意識を高めることにもつながります。

## 自動車利用の工夫

### (4) マイカー利用

<地球環境・エネルギー・空気>

#### マイカー通勤の自粛を呼びかける

##### <取組みの内容>

- ▼ マイカー通勤者に対し、公共交通機関の利用やマイカーの乗り合い、近隣の場合は徒歩や自転車利用を推奨し、マイカー自粛を呼びかけます。

##### <取組みによる変化>

- ▼ マイカー通勤に伴う排ガスの排出を抑えることができます。  
※環境配慮指針(市民編 P23)を参照。
- ▼ 公共交通機関利用などが定着すれば、従業員用駐車場を他用途に活用できます。



## 自動車利用の工夫

### (5) 配送車

<地球環境・エネルギー・空気>

#### 大型輸送・配送車は生活道路を避ける

##### <取組みの内容>

- ▼ 事業所に入入りする大型の輸送車、配送車については、生活道路を避けた運行を働きかけます。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 大型車が狭い生活道路を走行することにより、事故や渋滞をまねくおそれがありますが、これを回避できます。
- ▼ 生活環境の悪化を防ぐことにもつながります。

## 省エネルギーの工夫

### (1) エアコン

<地球環境・エネルギー・空気>

夏は28℃、冬は20℃に

#### <取組みの内容>

- ▼ いつもの設定温度より1℃、自然の温度に近づけます。(冷房は1℃高く、暖房は1℃低く設定します。)
- ▼ クールビズやウォームビズと組み合わせたり、エアコンのドライモードや加湿器を上手に使ったり、ひざ掛けを活用したりするなどの工夫をします。

The logo for WARM BIZ is displayed in a bold, dark blue font on an orange rectangular background.

▲出典 チーム・マイナス6% ホームページ

#### <取組みによる変化>

- ▼ 電気消費量を削減でき、CO<sub>2</sub>などの排出量の削減につながるほか、電気料金も節約できます。

## [3] レベルアッププログラム

### ～トップランナーを追いかけろ！～

毎日の事業活動でできる環境配慮行動として、「省エネルギーの工夫」、「3Rの工夫」、「自動車利用の工夫」の3つを取り上げます。

「レベルアッププログラム」では、すでに普及している環境配慮行動について、高いレベルの取組みに照準をあわせて、底上げのための対策を行っていきます。

## 3R の工夫

### (2) リデュース（排出抑制）

#### <資源>

#### 紙の使用量を減らす

##### <取組みの内容>

- ▼ 両面印刷、両面コピーや、1枚に複数ページ分を印刷する割付印刷などを活用し、印刷枚数、コピー枚数削減の工夫を行い、これを事業所内に徹底します。
- ▼ ミスコピーや unnecessary コピーを避けるため、コピーカウンターを活用し、部門等で管理を行います。
- ▼ 書類の複数化や私蔵化を避けるため、共有化や一元管理を進めます。
- ▼ 機密文書として取り扱う範囲を明確にしたり、機密文書処理のしくみを作ったりするなど、情報管理を徹底します。

##### <取組みによる変化>

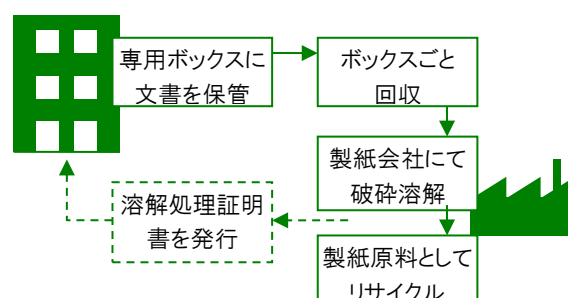
- ▼ 用紙類の削減とそれに伴う用紙代を節減できます。
- ▼ 割付印刷を活用することで、書類のページ枚数を減らすことができ、持ち運びが容易になります。
- ▼ コピーカウンターを活用し、前月比、前年同月比などコピー枚数を管理したり、部門間比較をしたりすることで、ムダを省くことができます。
- ▼ 書類一元管理システムを整えることで、次のような点から業務の効率アップが期待できます。
  - ・ 必要な書類を素早く手にすることができます。
  - ・ 共有書類を誰でも閲覧等することができます。
- ▼ 重要文書や機密文書などの徹底した管理によって、紛失・漏洩などのリスクを低減するほか、不要な書類を減らせます。
- ▼ シュレッダー作業に要する手間と時間（人件費）が省けます。

## トピックス ■ 機密文書のリサイクル

### ○機密文書は溶解して紙資源に

現在、機密文書リサイクルサービスを提供している事業者が数多くあります。

一般的なリサイクルシステムでの処理の流れは、機密文書は専用ボックスで保管、回収され、開封されることなくそのまま破碎、溶解処理され、製紙原料パルプとなります（下図）。



※機密文書リサイクルシステムの主な流れ

### ○証明書発行で安心

サービスを提供する各事業者は、「溶解処理証明書」などを発行します。これにより、確実に機密文書が判別不能な状態にまで処理され、リサイクルされたことを保証しています。

## 3R の工夫

### (3) リユース（再使用）

<資源>

使い捨て製品の購入・使用を抑制する

#### <取組みの内容>

- ▼ 使い捨て製品の購入や使用の抑制を図ります。また、従業員に対しても使用の自粛を呼びかけます。
- ▼ 会議などの飲料や弁当などは、リターナブル容器（繰り返し使える容器）入りを購入・注文します。

#### <取組みによる変化>

- ▼ 廃棄物を削減することができます。特に、弁当容器などのプラスチックごみは処分費の高い産業廃棄物となるため、リターナブル容器とすることで大きく節減できます。



※ リフィル(中身を入れ替え)できる文房具  
(テープ交換できる修正テープとボールペン用の交換インク)

## 3R の工夫

### (4) リサイクル

<資源>

リサイクルを徹底する

#### <取組みの内容>

- ▼ 従業員にわかりやすい分別ボックスを工夫し、利用しやすい場所に設置します。
- ▼ 廃棄物処理等の委託先として、リサイクルに積極的に取り組む業者、リサイクル情報を適宜提供してくれる業者を率先して選定します。

#### <取組みによる変化>

- ▼ 従業員がリサイクルに取り組みやすくなり、結果として事業所のリサイクル率向上に寄与できます。
- ▼ 積極的な業者の場合、廃棄物に関連する法改正や規制強化などの情報をいち早く提供してもらえるため、事業所としてこれに対応しやすくなります。



## 自動車利用の工夫

### (5) エコドライブ

<地球環境・エネルギー・空気>

#### エコドライブを心がける

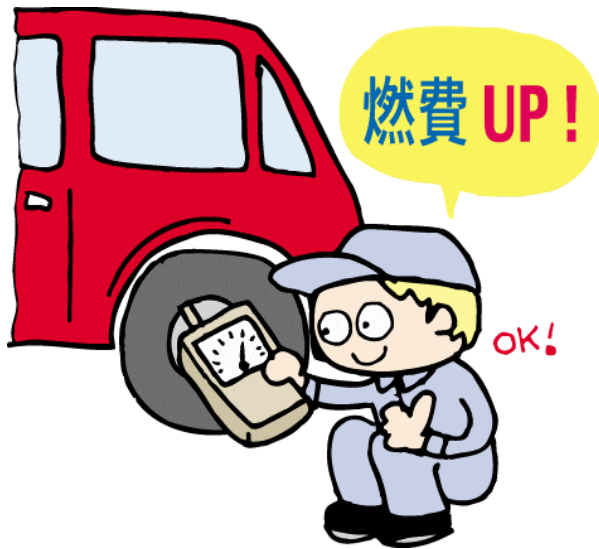
##### <取組みの内容>

- ▼ 事業活動で利用する自動車について、法定の積載量や速度を守るよう、徹底します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 安全運転のほか、燃費の改善にもつながります。

※環境配慮指針(市民編 P24)を参照。



## 省エネルギーの工夫

### (1) エアコン

<地球環境・エネルギー>

冷暖房は必要なときだけつける

#### <取組みの内容>

- ▼ 快適な室温になったらこまめにスイッチをオフするか、弱運転に切り替えるなど、工夫します。



#### <取組みによる変化>

- ▼ こまめなスイッチオフなどにより、消費電力を減らすことができます。

※環境配慮指針(市民編P19)を参照。

## [4] 習慣化プログラム

～もう一歩！ビジネス・スタンダードへ～

毎日の事業活動でできる環境配慮の取り組みとして、「省エネルギーの工夫」、「3Rの工夫」、「自動車利用の工夫」の3つを取り上げます。

「習慣化プログラム」では、すでに高いレベルで普及し、かつ事業所間に大きな差が見られない環境配慮行動について、それを事業活動の中に習慣化させ定着させるための対策を行っていきます。



## 省エネルギーの工夫

### (2) 照明

<地球環境・エネルギー>

#### 照明をつける時間を短くする

##### <取組みの内容>

- ▼ 誰もいない部屋や廊下の照明をこまめにオフします。
- ▼ 深夜残業時の点灯や少ない人員のための全室点灯を避けるようにします。



##### <取組みによる変化>

- ▼ 蛍光灯 10 灯を1日4時間点灯短縮すると、年間約 3,024 円の削減になります。

▲出典 東京商工会議所ホームページ「中小企業向け 省エネ・温暖化対策ヒント集」

※環境配慮指針(市民編 P20)を参照。

## 3R の工夫

### (3) リサイクル (再資源化)

<資源>

#### 資源の分別を徹底する

##### <取組みの内容>

- ▼ 従業員が分別した資源をまとめて保管できるスペースを確保します。
- ▼ 分別のルールやしくみを、全従業員間で共有・徹底します。特に、住んでいる地域とルールやしくみが異なる場合があるため、従業員一人ひとりへの周知を図ります。
- ▼ 事業所のルールやしくみをよりわかりやすいものにできるよう、臨機応変に対応します。そのために、従業員の意見やアイデアを生かせる工夫をします。
- ▼ 分別の必要性について十分に説明するだけでなく、得られた成果(たとえばリサイクル率アップなど)についても従業員に随時情報提供し、共有できるようにします。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 従業員の分別努力をムダにすることなく、リサイクル率を高めることができます。
- ▼ 廃棄物が管理しやすくなります。
- ▼ 分別のしくみがわかりやすいほど共有しやすく、かつ分別を徹底しやすくなります。
- ▼ 従業員の環境意識を向上させることができます。



▲出典 大和市リサイクル事業協同組合ホームページ

### 3R の工夫

#### (4) 長期使用

<資源>

##### 事務機器などを修理・修繕して使う

###### <取組みの内容>

- ▼ 事務機器などが故障した場合は修理・修繕し、長期使用を心がけます。
- ▼ リースやレンタルを上手に活用し、修理・修繕やモデルチェンジに対応してもらいます。

###### <取組みによる変化>

- ▼ 製品価格よりも修理代が安価であれば、経費増を防ぐことができます。
- ▼ まだ使えるものを廃棄することによる資源の浪費を防ぐことができます。
- ▼ リースやレンタルでは、使用期間(契約期間)が終了した商品は回収されるため、自らでごみとして処分する必要がなくなります。

### 自動車利用の工夫

#### (5) 交通ルール

<地球環境・エネルギー・空気>

##### 迷惑駐車をしない

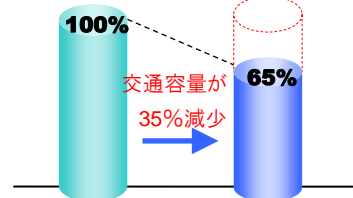
###### <取組みの内容>

- ▼ 法令違反であり、また交通の流れを乱し渋滞を招く路上駐車をしません。
- ▼ また、迷惑駐車は、歩行者などを視認する妨げとなり、交通事故の原因となります。

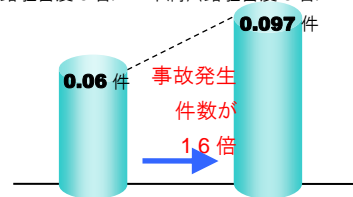
###### <取組みによる変化>

- ▼ 渋滞等に伴う環境面の悪化を防ぐことができます。
- ▼ 駐車禁止エリアでなくても、交通や人の往来のある場所の場合、駐車が原因の事故(他者によるものを含む)を未然に防ぐことができます。

〈違法駐車がない場合〉〈違法駐車がある場合〉



〈路駐密度 5 台/km 未満〉〈路駐密度 5 台/km 以上〉



〈上段：東京都の違法駐車による交通障害〉  
違法駐車があると、交通容量が 35% 減少

〈下段：路上駐車による事故発生状況〉  
路駐密度が 5 台/km 以上の場合、同 5 台/km 未満に比べ事故発生件数が 1.6 倍に増加

▲出典 国土交通省ホームページ

※環境配慮指針(市民編 P27)を参照。

## 3R の工夫

### (1) リデュース（排出抑制）

<資源>

#### プラスチック製容器包装材を減らす

##### <取組みの内容>

- ▼ 販売されている商品の多くは、あらかじめプラスチック製の容器包装材に入れられて売られています。購入した商品を持ち帰るのにも、プラスチック製のレジ袋が使われます。
- ▼ プラスチック製容器包装材の原料は石油です。省エネルギーという観点からも、またこの焼却処理によって発生する二酸化炭素の削減のためにも、プラスチック製容器包装に依存する暮らし方を見直す時期にきています。
- ▼ 事業者側の取組みとして、工場であれば商品に付随するプラスチック製容器包装材の削減にチャレンジします。店舗であれば簡易包装を消費者に訴えかけ、販売に伴う包装材の削減にチャレンジします。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 容器包装材を減らすことで、家庭に持ち込むプラスチック廃棄物を減らせるだけでなく、提供する事業者側も、容器包装材コストを削減することができます。



## [5] チャレンジプログラム

### ～目指せ、「環境マスター」!～

毎日の事業活動でできる環境配慮行動として、「3Rの工夫」と「低炭素社会に向けた取組み」の2つを取り上げます。

「チャレンジプログラム」は、新たな観点で実践できる環境配慮行動となります。

## 低炭素社会に向けた取組み

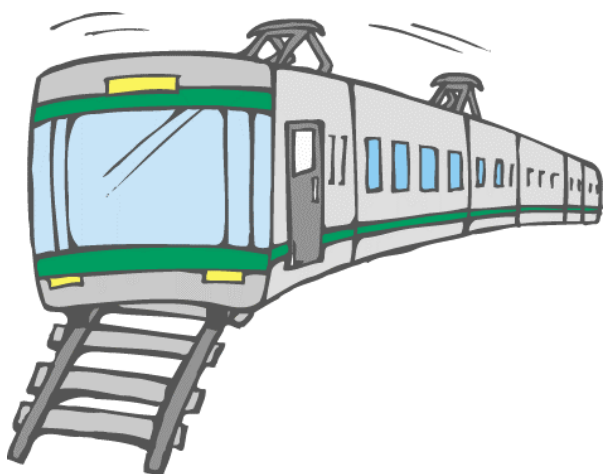
### (2) 交通手段選択

<地球環境・エネルギー・空気>

#### 環境負荷を考えて交通手段を選ぶ

##### <取組みの内容>

- ▼ 出張距離や到着時間を考慮しながら、旅費だけでなく、CO<sub>2</sub> 排出量にも配慮して、交通手段を選択します。
- ▼ 交通経路や料金だけでなくCO<sub>2</sub> 排出量なども比較・表示する検索システムもあります。



##### <取組みによる変化>

- ▼ CO<sub>2</sub> 排出量の削減に貢献できます。

## 低炭素社会に向けた取組み

### (3) 排出量取引

<地球環境・エネルギー>

#### カーボン・オフセット商品を購入する

##### <取組みの内容>

- ▼ 事業所では削減できないCO<sub>2</sub>などの温室効果ガス排出量を、他の場所での削減量や吸収量で埋め合わせる(相殺する)カーボン・オフセット商品・サービスが販売されています。
- ▼ 事業所におけるCO<sub>2</sub> 排出量の削減目標を定め、その達成に向けたプログラムを策定、実践します。まずは、排出源での削減努力が最優先となりますが、それでは目標達成が困難な場合、カーボン・オフセット商品の購入や排出量取引への参加を次善策として検討します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 日頃の取組みによる温室効果ガスの排出量削減に加えて、さらに多くの削減をすることができます。
- ▼ カーボン・オフセット商品の売買や排出量取引市場の活性化に寄与できます。  
※環境配慮指針(市民編 P39)を参照。

## 省エネルギーの工夫

### (1) エネルギー損失

<地球環境・エネルギー>

#### エネルギー損失をチェックする

##### <取組みの内容>

- ▼ ブラインドの操作や熱反射フィルムによる日射の調整、断熱材の施工などによって、建物や設備からのエネルギー損失を防止します。
- ▼ ビル全体で、早朝から深夜まで電気をつけ、空調を稼働させている場合は、それによる損失をチェックし、ムダを省く工夫をします。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 窓ガラスに遮光フィルムを貼り、ブラインドを併用して日射負荷を低減することなどに取り組むことで、電力の削減や経費節減につながります。

## 6. 建築・管理での配慮

### [1] きっかけづくりプログラム

～見て、知って、こつこつはじめる！～

建築・管理面における環境配慮の取り組みとして、「省エネルギーの工夫」と「再生可能エネルギー利用の工夫」の2つを取り上げます。

「きっかけづくりプログラム」では、実践者が少ない環境配慮行動について、多くの事業者に知ってもらい、試しに参加・実施してもらうためのきっかけを用意します。

## 省エネルギーの工夫

### (2) 効率化

＜地球環境・エネルギー＞

#### 排熱回収や電力負荷の平準化を行う

##### ＜取組みの内容＞

- ▼ 熱交換器の取り付けや蓄熱式空調システムの導入など設備の改修により、省エネルギーの取組みを進めます。
- ▼ 照明器具については、蛍光灯よりも、さらに長寿命で、省電力な LED ランプに交換することで、さらなる省エネが期待できます。

##### ＜取組みによる変化＞

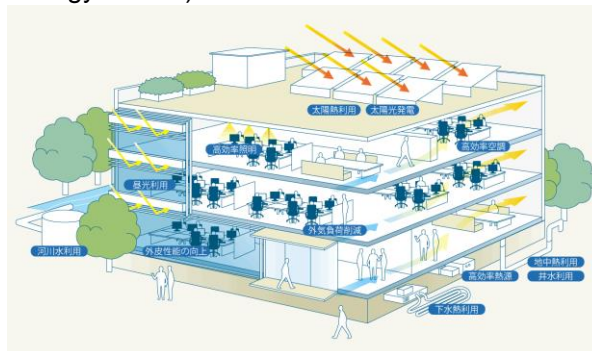
- ▼ さまざまな設備の効率化により、電力消費量や経費を削減できます。

※環境配慮指針(市民編 P11)を参照。

## トピックス ■ ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)

### ○ZEBとは

Net Zero Energy Building の略で、断熱や採光性などを工夫してエネルギー消費量を減らす一方で、太陽光発電等でエネルギーを作り、見かけ上のエネルギー使用量をゼロにしたビルのことです。また、同様の考え方を一般住宅に当てはめたものを ZEH(Net Zero Energy House)と呼んでいます。



▲出典 経済産業省資源エネルギー庁ホームページ

### ○国による推進の取組み

国は、平成 26 年に閣議決定した第 4 次エネルギー基本計画と 30 年に閣議決定した第 5 次エネルギー基本計画において、「2020 年までに新築公共建築物等で、2030 年までに新築建築物の平均で ZEB を実現することを目指す」という政策目標を盛り込みました。

この実現に向けて、国では導入促進に向けての支援を続けていく考えを示しています。

▲参考 経済産業省「第 4 次・第 5 次エネルギー基本計画」



## 省エネルギーの工夫

### (3) コージェネレーション

<地球環境・エネルギー>

燃料電池やコージェネレーションを導入する

#### <取組みの内容>

- ▼ 燃料電池は、水素を燃料として大気中の酸素と反応させることで、直接電気を発生させる装置です。
- ▼ コージェネレーションは、石油や都市ガスなどのエネルギーを使い、電気とあわせて熱も取り出すしくみです。電力のみを得る発電機と交換することでエネルギー効率を高めることができます。
- ▼ こうした機器を、事業所に導入します。

#### <取組みによる変化>

- ▼ たとえば、コージェネレーションシステムの導入により、次のような効果が期待できます。
  - ・ばいじんや硫黄酸化物(SOx)が発生しません。
  - ・CO<sub>2</sub>や窒素酸化物(NOx)の排出量を削減できます。

### トピックス■コージェネレーションシステムの種類とは

#### ○コージェネレーションシステムの種類

- ①エンジンで発電機を回転させる「ガスエンジンシステム」
- ②燃焼ガスでタービンを回転させ、その動力で発電機を回転させる「ガスタービンシステム」
- ③水素と酸素を反応させて発電する「燃料電池システム」

※環境配慮指針(市民編 P52)を参照。

## 再生可能エネルギー利用の工夫

### (4) 太陽光発電

<地球環境・エネルギー>

太陽光発電機器を導入する

#### <取組みの内容>

- ▼ 屋根や壁面に太陽光発電パネルを設置し、工場や事業所での発電を行います。



※大和市役所に設置している太陽光発電パネル

#### <取組みによる変化>

- ▼ 太陽光を直接電気に変えるため、CO<sub>2</sub>やNOx等のガスが発生しません。
- ▼ 買電量が減少することで電気料金の節約になるほか、温室効果ガスの削減にもつながります。



## 再生可能エネルギー利用の工夫

### (5) 太陽熱利用

<地球環境・エネルギー>

#### 太陽熱利用機器を導入する

##### <取組みの内容>

- ▼ 太陽熱利用機器には、太陽熱を利用して直接温水を作る太陽熱温水機と、集熱ポンプの働きで温水を作るソーラーシステムがあり、いずれかを設置します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 集熱することにより給湯できるため、CO<sub>2</sub>やNO<sub>x</sub>等が発生しません。
- ▼ 電気料金の節約になるほか、温室効果ガスの削減にもつながります。

## 周辺環境への配慮

### (1) 汚染物質・騒音対策

<空気・水・音・美化・緑・生物・景観・産業・  
都市空間・水循環・環境保全活動>

## [2] 普及・拡大プログラム

### ～「ひとり」から「みんな」へ！～

建築・管理面における環境配慮の取組みとして、「周辺への配慮」を取り上げます。

「普及・拡大プログラム」では、すでに一部に実践の芽が出始めている環境配慮行動について普及拡大の勢いをつけるため、その取組みを紹介し、実践しやすい環境を整えていきます。

### 公害の防止に努める

#### <取組みの内容>

- ▼ 大気汚染や水質汚濁を発生させないよう、設備の適切な維持管理に努めるほか、低公害型の機器の導入などを進めます。
- ▼ 騒音・振動や悪臭を発生させないよう、低公害型の機器の導入や工場内での設備の適正配置などに努めます。
- ▼ 化学物質の適正な管理に努めます。

#### <取組みによる変化>

- ▼ 従業員の健康面に配慮することになるほか、快適な地域環境にもつながります。

## 周辺環境への配慮

### (1) 美化

<音・美化・環境保全活動>

#### 事業所周辺の清掃に努める

##### <実施する内容>

- ▼ 工場・事業所等の周辺の清掃に努めます。
- ▼ 「清掃の日」へ参加します。
- ▼ 地域美化に関して事業所内で取組みを検討します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 従業員の環境意識を高めるとともに、周辺に住む方と地域美化についての意識を共有することができます。



## [3] レベルアッププログラム

### ～トップランナーを追いかけろ！～

建築・管理面における環境配慮の取組みとして、「周辺環境への配慮」を取り上げます。

「レベルアッププログラム」では、すでに普及している環境配慮行動について、高いレベルの取組みに照準をあわせて、底上げのための対策を行っていきます。

## 周辺環境への配慮

### (2) 屋上・壁面緑化

〈緑・生物・景観・産業・都市空間〉

#### 屋上緑化や壁面緑化を進める

##### 〈取組みの内容〉

- ▼ 建物の屋上や壁面のほか、事業所敷地内にある空地の緑化を進めます。

##### 〈取組みによる変化〉

- ▼ 日射を遮ることができるほか、CO<sub>2</sub>の吸収などにも貢献できます。



※大和市文化創造拠点シリウスの敷地内緑化

※環境配慮指針(市民編 P47)を参照。

## 省エネルギーの工夫

### [ 4 ] 習慣化プログラム

#### ～もう一歩！ビジネス・スタンダードへ～

建築・管理面における環境配慮行動として、「省エネルギーの工夫」を取り上げます。

「習慣化プログラム」では、すでに高いレベルで普及し、かつ事業所間に大きな差が見られない環境配慮行動について、それを事業活動の中に習慣化させ定着させるための対策を行っていきます。

#### (1) 効率化

##### <地球環境・エネルギー>

#### エネルギー効率を向上させる

##### <取組みの内容>

- ▼ 機器や設備について、運用方法の適正化・効率化や、清掃の徹底に努めるほか、高効率機器への更新などを行います。
- ▼ 天井にある蛍光灯を間引く一方で、各デスクには作業用として新たに低消費電力のLED型スタンドを設置します。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 蛍光灯を33台から17台に半減させ、LEDスタンドを36台新設した場合（一日の執務時間13時間、在席率50%とした場合）、照明電力消費量を約41%削減できます。

▲参考 省エネルギーセンター「ビルの省エネルギーガイドブック2018」(P30)

## 大気汚染防止の工夫

### (1) 野焼き

<安全>

#### 野焼きをしない

##### <取組みの内容>

- ▼ 塩化ビニルなどの廃プラスチックを含む農業廃棄物を安易に焼却することは、ダイオキシン類をはじめとする大気汚染物質の発生原因となります。また周辺に悪臭やばいじんなどを撒き散らすことにもなります。
- ▼ 廃棄物の野焼きは、廃棄物処理法によって禁止されています。ただし、農業、林業または漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却(たとえば、農業者が行う焼畑やあぜ草の野焼き)など、いくつかの特例が認められています。

##### <取組みによる変化>

- ▼ 野焼きは燃焼管理・温度管理ができないため、ばいじんなどの未燃分が発生し、またダイオキシンなどの化学物質が合成されやすくなります。さらに、焼却に伴う悪臭やばいじんが周囲に拡散します。
- ▼ 野焼きをしないことで、こうした公害や健康被害を回避することができます。

## 7. 農業における配慮

### [1] 環境配慮型農業推進プログラム

#### ～農業でまちを変えよう！～

農業における環境配慮の取り組みとして、「大気汚染防止の工夫」、「化学物質使用への配慮」、「生物への配慮」、「持続的農業への配慮」の4つを取り上げます。

## 化学物質使用への配慮

### (2) 農薬

＜安全＞

農薬はなるべく使わない

#### ＜取組みの内容＞

- ▼ 農薬の過剰な使用は、人の健康や地域の生態系に影響を与える可能性があります。
- ▼ 地域に住む人々の将来の健康も考え、なるべく農薬を使わないようにします。

#### ＜取組みによる変化＞

- ▼ 農作業する人の、健康被害のリスクを低減することができます。
- ▼ 農薬による生態系への影響を低減することができます。
- ▼ 「無農薬」や「減農薬」として、農作物に対する消費者の安心感や、農作物の付加価値を高めることができます。

## 化学物質使用への配慮

### (3) 有機農業

＜安全＞

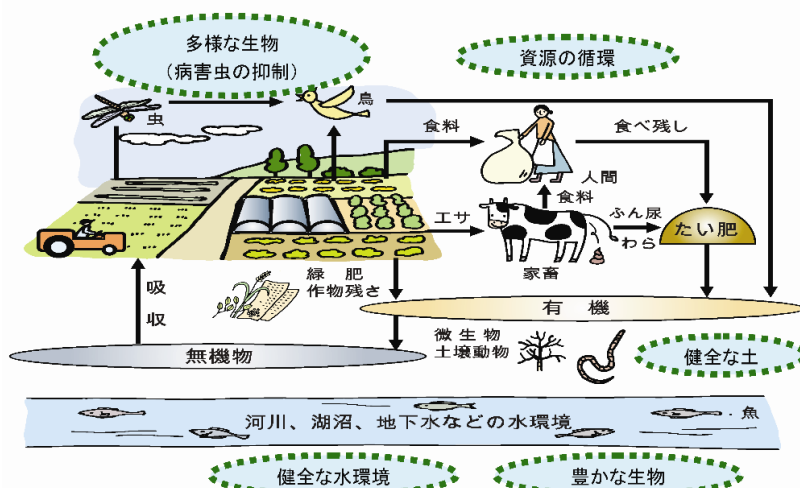
有機農業を進める

#### ＜取組みの内容＞

- ▼ 化学肥料の大量使用による河川・海洋の富栄養化や地下水汚染などを防ぐため、化学肥料の過剰な利用を避けます。
- ▼ 有機農業にチャレンジすることで、地域の物質循環の形成に寄与できます。

#### ＜取組みによる変化＞

- ▼ 農地への有機肥料の投入により、作物を生育させることのできる土地の能力である「地力」を高めることができます。また、地力を維持することで、収量を安定化させることができます。
- ▼ 「有機農産物」として、農作物に対する消費者の安心感や、農作物の付加価値を高めることができます。



※有機農業による環境と調和の取れた農業生産

▲出典 農林水産省パンフレット「有機農業を推進しましょう」



## 生物への配慮

### (4) ビオトープ

＜緑・生物・景観・産業・都市空間＞

#### 生物のすみかを確保する

##### ＜取組みの内容＞

- ▼ 農地は、いろいろな生物のすみかでもあります。そこで、農薬の使用を減らすことで、農地にビオトープ(生物生育空間)としての機能も持たせます。

##### ＜取組みによる変化＞

- ▼ 多種の生物が生息できる環境を維持することで、地域における生物多様性に貢献できます。
- ▼ たくさんの種類の生物が生息する環境のほか、自然と触れ合える機会を市民等に提供することができます。



## 持続的農業への配慮

### (5) 農業の継続

＜緑・生物・景観・産業・都市空間＞

#### 農業を続ける

##### ＜取組みの内容＞

- ▼ 農地は、大和市に残されたオープンスペースとして、市民等への安らぎの提供や災害時における避難空間など数々の役割を担っています。将来にわたり農業を続けることが、こうした多様な機能を維持することにつながります。

##### ＜取組みによる変化＞

- ▼ 安全・安心な地産地消が維持できます。
- ▼ ビオトープや景観を楽しめる場所としても農地が維持できます。

##### ＜大和市市民農園＞

大和市では、市内各地に市民農園を開設し、毎年2月に利用を希望する市民を募っています。緑と土に親しみながら野菜や草花の栽培など自らの農業体験を通じて、都市農業への関心と理解を深めていただくとともに、市民相互の「ふれあい」の場とすることが目的です。

## IV. 環境配慮指針〈市行政編〉

大和市や職員は、率先して環境配慮行動に努めており、「大和市地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)」や「やまとEMS」に基づいて実践しています。

### 1. 大和市地球温暖化対策実行計画【事務・事業編】

#### [1] 基本的な考え

大和市環境基本計画における望ましい環境像「自然の恵みを取り入れた、健康に生活できる、一生を安心して暮らせるふるさと」の実現を目指し、大和市や職員自ら率先し、再生可能エネルギーの活用、省エネルギーの推進など温室効果ガス排出量の削減を進めます。

#### [2] 基本方針

基本的な考えを踏まえ、次の3つを基本方針とし、温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。

##### 1. 再生可能エネルギーの活用・省エネルギーの推進

すべての事務・事業において、公共施設へ太陽光発電システム等の設備を導入するなど再生可能エネルギーの活用に努めるほか、節電や設備の高効率化など省エネルギーの推進に努めます。

##### 2. 廃棄物の減量化・資源化の推進

すべての事務・事業において、ごみの減量、3Rの推進など廃棄物の削減・資源化の推進に取り組みます。

##### 3. 環境に配慮した公共事業の推進

公共事業による環境影響の低減と環境に配慮した事業を推進し、温室効果ガスの削減に取り組みます。施設を新築又は現施設を更新する際は、省エネルギー型施設にするなど環境に配慮します。

#### [3] 具体的な取り組み

##### (1) 再生可能エネルギーの活用・省エネルギーの推進

###### ■再生可能エネルギーの活用

・公共施設へ太陽光発電システム等の再生可能エネルギー設備の導入を推進します。

###### ■省エネルギーの推進

###### ○ごみ処理に伴うエネルギーの有効利用

・ごみ処理施設でのエネルギーの有効利用を図ります。  
・発電機を効率的に運用し、電気使用量(買電量)を削減します。

###### ○建築物等の省エネルギーの推進

・公共施設の省エネルギー診断等を進め、ZEB や BEMS(ビル・エネルギー管理システム)の導入を検討します。  
・設備の更新の際は、コージェネレーションシステムなど省エネルギー設備の導入を検討します。

### ○電気の使用

- ・始業前や昼休みなど、業務に支障のない範囲で消灯します。
- ・エレベーターの使用を控え、できるだけ階段を利用します。
- ・冷暖房の適切な温度管理をします。
- ・パソコンやコピー機などは、省電力モードにして使用し、席を離れる場合は、電源を切ります。
- ・クールビズやウォームビズを取り入れます。
- ・照明灯の更新の際は、省エネルギータイプの機器を検討します。

### ○都市ガス・LPガスの使用

- ・冷暖房の適切な温度管理をします。
- ・給湯器を適正に使用します。

### ○水の使用

- ・こまめに水道の蛇口を開閉し、節水します。
- ・トイレでの2度流しをしないようにします。
- ・節水こまを設置するなど、節水を心がけます。

### ○ガソリンなどの燃料の使用

- ・車両の更新の際は、低公害車や次世代自動車の導入を検討します。
- ・公共交通機関を優先的に使用し、近隣への移動はなるべく公用車を利用せず、自転車や徒歩による移動を心掛けます。
- ・駐車時等のアイドリングストップを徹底します。
- ・急加速、急発進、空ぶかし及び不要な荷物の積載などをせず、エコドライブを徹底します。
- ・相乗りするなど、公用車を効率的に利用します。
- ・焼却施設の立ち上げ、立ち下げ時に使用する燃料は、ダイオキシン等の有害物質を排出しない限度を見極め、適切な使用量とします。

## (2) 廃棄物の減量化・資源化の推進

### ■廃棄物の減量化

- ・分別回収を徹底するとともに、紙の使用においては裏面活用や再生紙の利用により3R(Reduce: 減らす、Reuse: 繰り返し使う、Recycle: 再資源化)を徹底します。
- ・使用済みの封筒、ファイル、フォルダー等を再利用します。
- ・廃棄物の減量により、輸送に伴う温室効果ガス排出量や焼却に伴う温室効果ガス排出量を削減します。

### ■資源化の推進

- ・資源の分別を徹底します。
- ・公共施設の利用者にごみ・プラスチック・空き缶類・ペットボトルなどの分別を呼び掛けます。

### (3) 環境に配慮した公共事業の推進

#### ■環境に配慮した物品等の利用促進

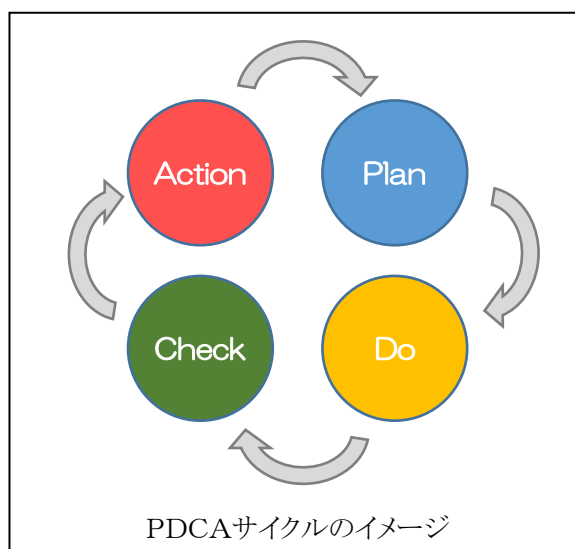
- ・「大和市グリーン購入調達方針」に定めるものを調達します。
- ・環境に配慮した契約等を推進します。

#### ■緑化の推進

- ・都市公園等の公共施設において、市街地内の良好な環境形成に向け今後も引き続き緑化を進めます。
- ・公共施設の整備においては、壁面緑化、屋上緑化などに努め、環境に配慮して整備を推進します。

## [ 4 ] 計画の進行管理

事務・事業編の進行管理は、環境マネジメントシステム「やまとEMS」を運用し、電気、ガス、自動車燃料等のエネルギー使用量を把握し、PDCAサイクルにより目標達成に向けて進行管理を行います。



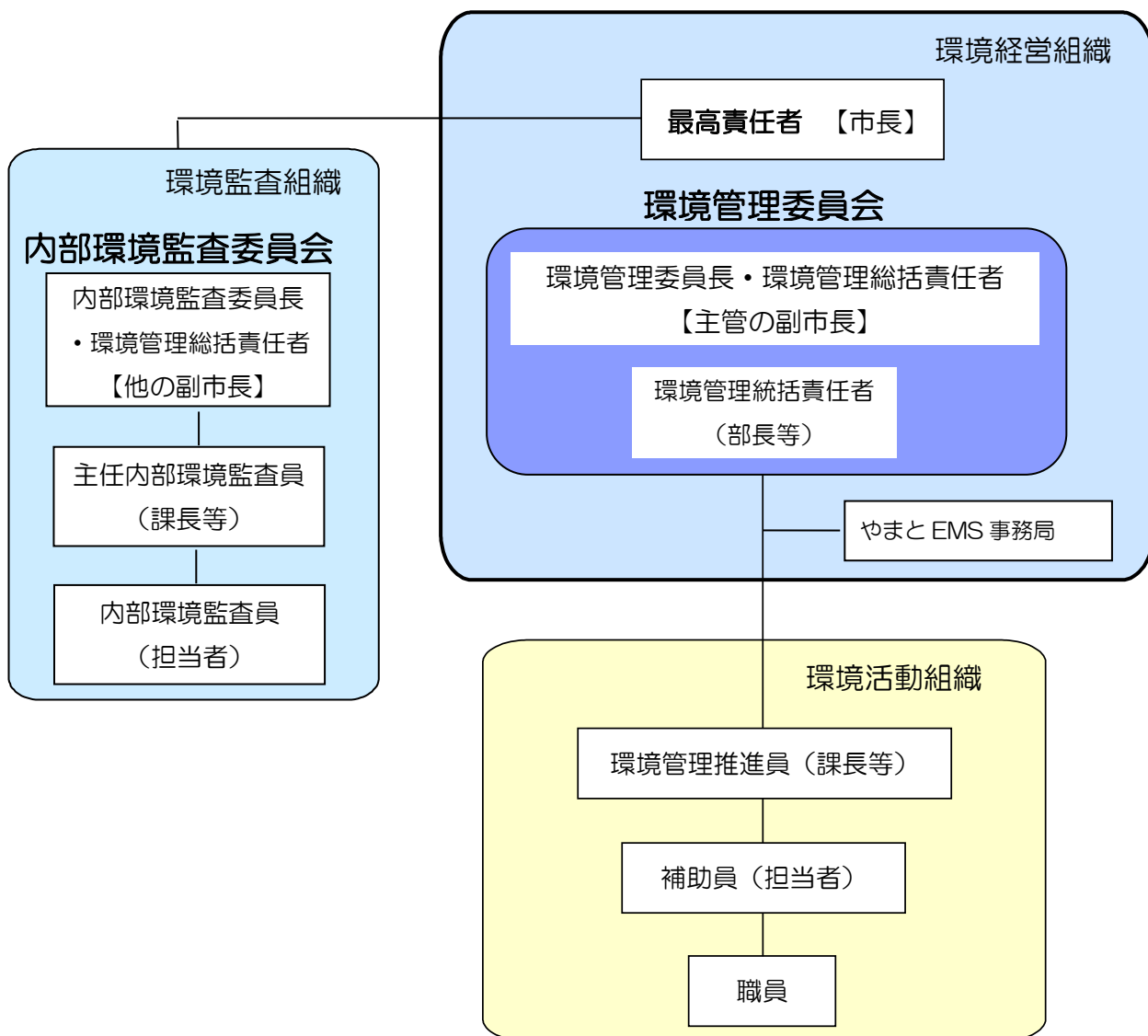
## 2. やまとEMSの取組み

### [1] やまとEMSとは

やまとEMSとは、市役所の事業活動を進める上で、環境への配慮が日常的になされている状態を実現するための独自のシステムです。

### [2] 推進体制

次の推進体制により推進します。



対象職員及び対象施設

|      |   |
|------|---|
| 対象職員 | 全職員（非常勤職員、臨時的任用職員、再任用職員含む。）                     |
| 対象施設 | 全施設（但し、小中学校、市立病院の診療部門、消防の消火活動、指定管理者の管理する施設は除く。） |

## V. 資料編

### 1. 大和市環境基本計画（平成30年3月改定版）

#### [1] 計画の基本的事項

##### (1) 計画改定の背景

大和市では、良好な環境の保全及び創造をしていくため、平成9年12月に「大和市環境を守り育てる基本条例」を制定し、これに基づき平成11年3月に「大和市環境基本計画」を策定しました。平成20年3月には目標設定水準や施策の見直し等により計画の改定を行いました。その後9年が経過し、計画の進捗状況や様々な社会情勢の変化などを踏まえ、さらなる見直しが必要となっています。

また、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき「大和市地球温暖化対策実行計画」を平成23年6月に策定し、温室効果ガスの排出を抑制するための施策を総合的に進めてきました。地球温暖化の問題は、国際的にもパリ協定が発効するなど地球規模での取り組みの必要性が増しており、自然災害、健康への影響も懸念されるなど、自治体としても一層の対策の推進が必要となっています。

こうした社会情勢の変化を踏まえ、かけがえのない環境を次世代を担う子どもたちに引き継ぐため、将来にわたって快適な環境と資源を保全する持続可能な社会の構築を目指し、環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画を改定することとします。



##### (2) 計画の目的

大和市環境を守り育てる基本条例では、本市の環境政策に関する基本的な枠組みを示すとともに、施策実現の中心的役割を担う手段として、環境基本計画の策定を義務づけています。

本計画は、条例の趣旨を実現するため、本市が実施する環境の保全と創造に関する施策の基本的な方向を示すとともに、市民、事業者に期待される取組みを明らかにし、様々な施策をすべての主体の公平な役割分担の下に、柔軟な連携を保ちつつ、将来を展望しながら総合的、計画的に推進するものです。

##### (3) 計画における基本理念

本計画では、大和市環境を守り育てる基本条例第3条に掲げる環境の保全と創造についての4つの基本理念を、計画の基本理念として受け継ぎます。

###### ● 環境の恵みの享受と次世代への継承

きれいな空気や水をもつ良好な環境は、私たちに自然と触れて得られる人間性の回復や心身の休養といった恵みをもたらしてくれます。この良好な環境を守り、将来の市民へと引き継いでいきます。

###### ● 持続的に発展する循環を基調とした社会の構築

自然生態系の復元力には限りがあることを認識し、人と自然が共生した、環境への負荷の少ない、持続的に発展することができる、循環を基調とした社会の構築を目指します。

###### ● 市民、事業者、市の協働

環境の保全と創造は、市民、事業者、市が、それぞれの公平な役割分担の下に協力し、自主的かつ積極的に行っていきます。

###### ● 地球環境保全の推進

地球規模の環境問題は、人類共通の課題であると同時に、私たち市民一人ひとりにとっての問題でもあります。日常生活や事業活動のあらゆる場面で、地球環境の保全を積極的に進めていきます。

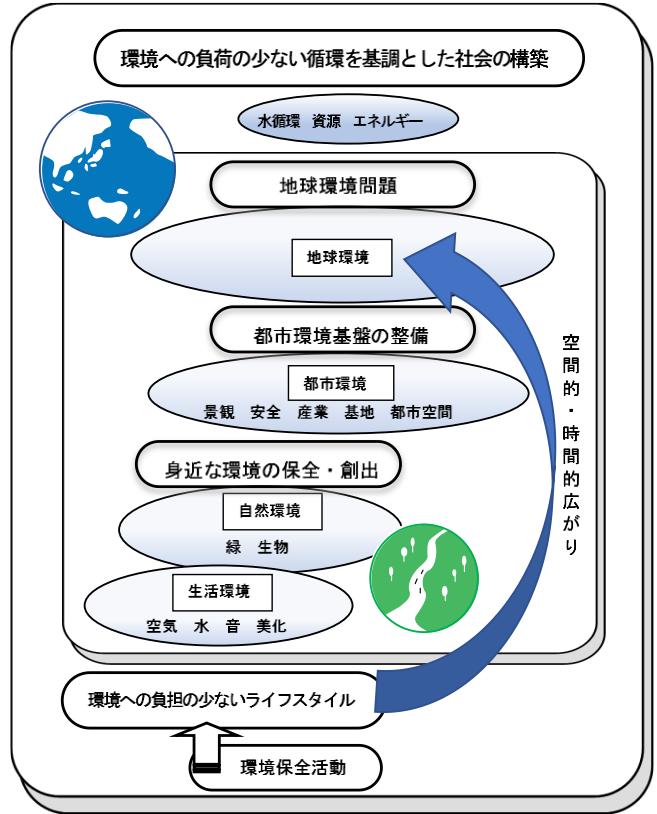
#### (4)計画の期間

本計画は、望ましい環境像の実現に向けて、長期的な視点での取組みを目指しますが、そのステップとして平成30年度(2018年度)から平成39年度(2027年度)までの10年を計画期間とします。

なお、他の計画との整合や取組みの進捗状況などとの調整、環境問題を取り巻く社会情勢の変化などに対応するため、必要に応じて見直しを行います。

#### (5)計画の対象範囲

本計画では、本市を取り巻く環境を右の図のように捉え、環境問題の空間的・時間的な広がりを踏まえ、社会のニーズや市民の意識の変化に対応し、必要な施策を講じられるように、生活環境や自然環境など身近な環境の保全と創出をはじめとし、安全で快適な都市環境基盤の整備、さらには、地球環境問題までを見渡してそれぞれの要素を設定します。これらの個別の環境問題への取組みを、各主体の環境保全活動によって支えられる、環境への負担の少ない循環型社会の構築という視点で束ねます。

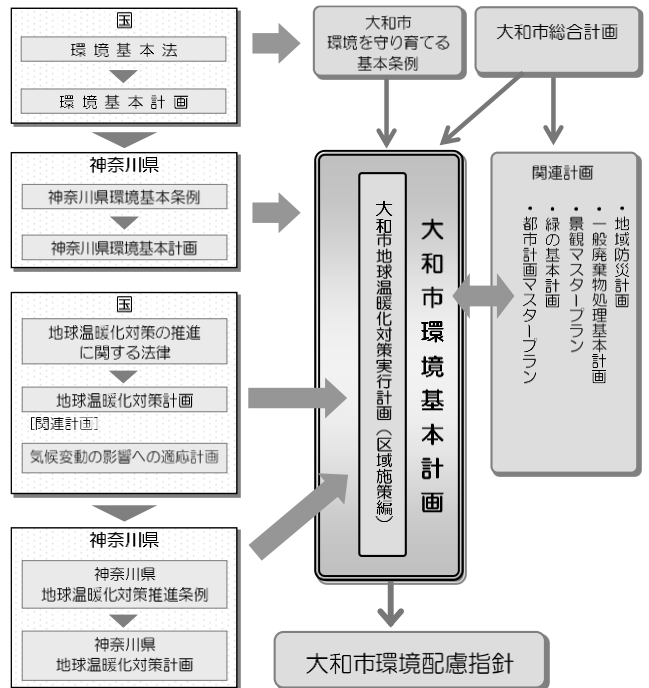


#### (6)計画の位置づけ

大和市環境を守り育てる基本条例第8条に基づき策定するもので、本市の「まちの健康」を支える環境分野の計画です。

環境の保全等に関する諸計画と連携を図りつつ、環境の保全等のための個別の施策を総合的かつ計画的に推進する上での、よりどころとなるものです。

本計画の「第5章 大和市地球温暖化対策実行計画」は、「地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)」の第21条第3項に基づいて地方公共団体が策定する「地方公共団体実行計画(区域施策編)」として位置づけます。





## [2] 計画の目標

| 望ましい環境像の実現                                |                                      | 長期的な目標<br>【平成39年度（2027年度）に向けた数値目標】 |  |
|---|--------------------------------------|------------------------------------|--|
| 自然の恵みを取り入れた、健康に生活できる、一生を安心して暮らせるまち        | <b>生活環境</b><br>健康に生活できる<br>きれいなまち    | <b>空気</b>                          | <b>深呼吸したくなるまち</b><br>【二酸化窒素濃度 0.04ppm 以下】  |
|   | <b>自然環境</b><br>人と自然が共生する<br>うおいのあるまち | <b>水</b>                           | <b>きれいな川のあるまち</b><br>【BOD 境川 3mg/ℓ 以下、引地川 2mg/ℓ 以下】  |
|   | <b>都市環境</b><br>ゆとりとやすらぎの<br>ある快適なまち  | <b>音</b>                           | <b>静けさを感じるまち</b><br>【市内全調査地点で環境基準をクリア】   |
|   |                                      | <b>美化</b>                          | <b>散乱ごみのないきれいなまち</b><br>【「散乱ごみの少ないきれいなまち」だと思<br>う<br>市民割合 50%】   |
|   |                                      | <b>緑</b>                           | <b>緑豊かなまち</b><br>【保全緑地契約面積等 26.2ha】  |
|   | <b>地球環境</b><br>地球環境への<br>負荷の少ないまち    | <b>生物</b>                          | <b>多様な生物とのふれあいのあるまち</b><br>【「身近に多くの種類の動植物とのふれあいのあるまち」だと思<br>う<br>市民割合 50%】<br>【市内でミンミンゼミの生息が継続的に確認されていること】 |
|   | <b>循環</b><br>循環を基調とした<br>社会システムのあるまち | <b>景観</b>                          | <b>魅力ある街並み</b><br>【「魅力ある街並みを持っているまち」だと思<br>う<br>市民割合 40%】  |
| <b>環境保全活動</b><br>気づき知り環境を守る<br>市民の連帯のあるまち |                                      | <b>安全</b>                          | <b>安心して生活できるまち</b><br>【環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数ゼロ】   |
|   |                                      | <b>産業</b>                          | <b>農・工・商の調和するまち</b><br>【環境に配慮した事業活動を行っている事業者割合 50%】  |
|   |                                      | <b>基地</b>                          | <b>航空機騒音のないまち</b><br>【航空機騒音に係る環境基準の達成率 100%】<br>【航空機騒音を削減させるよう取り組む】  |
|   |                                      | <b>都市空間</b>                        | <b>都市空間のゆとりのあるまち</b><br>【一人当たりの都市公園等面積 6.8㎡以上】   |
|   |                                      | <b>地球環境</b>                        | <b>地球市民としての自覚をもって行動するまち</b><br>【温室効果ガス排出量 19.5%削減】（2013年度比）  |
|   |                                      | <b>水循環</b>                         | <b>水との親しみのあるまち</b><br>【雨水貯留槽購入費補助申請累積件数 650 件】   |
|   |                                      | <b>資源</b>                          | <b>物質循環のなされているまち</b><br>【資源化率 32.2%以上】<br>【市民一人一日当たりの家庭系ごみ排出量 438g 未満】                                     |
|   |                                      | <b>エネルギー</b>                       | <b>エネルギーを有効に利用するまち</b><br>【住宅用太陽光発電システム等補助累積件数 2,500 件】  |
|   |                                      | <b>環境保全活動</b>                      | <b>環境にやさしい市民のまち</b><br>【市内全校の「ほとみどりの学文プログラム」への参加】<br>【「環境に配慮したり、環境保全活動に取り組む人が多い」と感じる<br>市民割合 50%】          |

## 2. 平成 20 年・平成 29 年アンケート

### [ 1 ] 平成 20 年アンケート

いずれの調査でも、様々な環境配慮行動についての実践状況を質問し、その結果を「どの程度実践されているか」「実践状況に個人差や事業所間の差があるか」という2点で分析しました。

#### (1) 市民アンケート調査概要

- 調査方法： 無作為抽出による 16 歳以上の市民 1,000 人
- 調査時期： 平成 20 年 8 月 1 日発送、同 8 月 31 日投函期限
- 有効回答： 回答数 362 件、回収率 36.2%

#### (2) 事業者アンケート調査概要

- 調査方法： 無作為抽出による市内の 500 事業所
- 調査時期： 平成 20 年 7 月 31 日発送、同 8 月 31 日投函期限
- 有効回答： 回答数 131 件、回収率 26.2%

### [ 2 ] 平成 29 年アンケート

いずれの調査も、「大和市環境基本計画」と「大和市地球温暖化対策実行計画」の改定にあわせて実施したもので、市民・事業者の環境に対する意識を把握することを目的としました。

#### (1) 市民アンケート調査概要

- 調査方法： 無作為抽出による 16 歳以上の市民 2,000 人
- 調査時期： 平成 29 年 4 月 1 日発送、同 4 月 17 日投函期限
- 有効回答： 回答数 533 件、回収率 26.7%

#### (2) 事業者アンケート調査概要

- 調査方法： 無作為抽出による市内の 1,000 事業所
- 調査時期： 平成 29 年 4 月 1 日発送、同 4 月 17 日投函期限
- 有効回答： 回答数 369 件、回収率 36.9%